



平成27年度

全国体力・運動能力、運動習慣等調査



【恵庭市における調査結果（報告）】

小学校



平成28年 3月
恵庭市教育委員会

◆ 目 次 ◆

| | |
|-------------------|------|
| 1. 調査の概要 | P1 |
| 2. 用語の解説と説明 | P2 |
| 3. 調査結果の掲載方法 | P3 |
| 4. 北海道の調査結果について | P3 |
| 5. 実技の結果 | P4・5 |
| 6. 体格と肥満度に関する調査結果 | P6・7 |
| 7. 児童生徒質問用紙調査の結果 | P8～ |
| 8. 学校質問紙調査の結果 | P19～ |



平成27年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

【恵庭市における調査結果の状況・小学校版】

1 調査の概要

① 調査の目的

子どもの体力が低下している状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

恵庭市が全国、全道的な状況との関係において自らの子どもの体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。なお、今年度も前年度同様、全学校を対象として調査を実施する。

学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

② 調査の対象学年

・小学校第5学年

・中学校第2学年

③ 調査の内容

I. 児童・生徒に対する調査

ア 実技に関する調査（以下「実技調査」という。）測定方法等は新体力テストの方法による

〔小学校8種目〕

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ

〔中学校8種目〕

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走または20mシャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げ

イ 質問紙調査

運動習慣、生活習慣、食習慣等に関する質問紙調査（以下「児童生徒質問紙調査」）

II. 学校に対する質問紙調査

学校における体育、保健体育の指導及び特別活動等に関する質問紙調査（以下「学校質問紙調査」）

④ 調査期間

平成27年4月から7月末までの期間で実施

⑤ 参加状況（調査を受けた学校数、児童生徒数）

| | 小学校 | | 中学校 | |
|-----|---------|------------|---------|------------|
| | 学校数 | 児童数 | 学校数 | 生徒数 |
| 恵庭市 | 8校 | 633人 | 5校 | 666人 |
| 全国 | 20,259校 | 1,069,520人 | 10,027校 | 1,060,733人 |
| 全道 | 1,088校 | 42,052人 | 633校 | 44,202人 |

2 用語の解説と説明

| 体力テスト種目 | 単位 | 体力要素 | 測定 |
|-------------|-----|---|------------------------|
| ① 握力 | kg | 筋力 | 左右握力の平均値 |
| ② 上体起こし | 回 | 筋パワー・筋持久力 | 30秒間に上体を起こした回数 |
| ③ 長座体前屈 | cm | 柔軟性 | 長座位で前屈したときの両手の前方への移動距離 |
| ④ 反復横とび | 点 | 敏捷性 | 20秒間に両脚で左右側方に反復跳躍した回数 |
| ⑤ 20mシャトルラン | 回 | 全身持久力 | 20m走行の折り返し回数 |
| ⑥ 50m走 | 秒 | 疾走能力 | 50mの疾走時間 |
| ⑦ 立ち幅とび | cm | 筋パワー・跳躍能力 | 両脚で前方へ跳躍した直線距離 |
| ⑧ ソフトボール投げ | m | 巧緻性・投球能力 | ソフトボールを遠投した距離 |
| 体力合計点 | 点 | 8種目の体力テスト成績を1点から10点に得点化して総和した体力テスト合計得点。 | |
| 総合評価 | 5段階 | 8種目の体力テストをすべて実施した場合、体力テスト合計得点の良い方からABCDEの5段階で評定した体力の総合評価。 | |

| 用語 | 解説 |
|------|--|
| 標本数 | 平均値、標準偏差、T得点を算出した人数。 |
| 平均値 | 調査結果（テスト成績）の算術平均値で集団の尺度上の位置を示す。 「平均値＝調査結果の総和/標本数」 |
| 標準偏差 | 調査結果の個人差の大きさを示す。平均値±標準偏差の範囲内に全体の68%が入る。 平均値±標準偏差の3倍の範囲内にほぼ全体が入る。 「標準偏差＝分散の平方根、分散＝偏差平方和/(標本数-1)、 偏差平方和＝偏差の平方の総和、偏差＝調査結果-平均値」 |
| T得点 | 全国平均値に対する相対的な位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較する。 平均値50点、標準偏差10点の標準得点。 「T得点＝50+10×(調査結果-平均値)/標準偏差」 |

※公立校の全国・都道府県の値は、公立校を対象としたものです。

※国立校および私立校の全国の値は、国立・公立・私立校を対象とし、都道府県の値は表示されません。

【標準体重と肥満度判定】

「児童・生徒の健康診断マニュアル（改訂版）」より

平成18年3月31日発行 財団法人日本学校保健会

| |
|--|
| $\text{標準体重} = a \times \text{身長 (cm)} - b$ $\text{肥満度 (\%)} = \frac{\text{自分の体重 (kg)} - \text{標準体重 (kg)}}{\text{標準体重 (kg)}} \times 100$ |
|--|

■標準体重を求める係数

| 年齢 | 男子 | | 女子 | |
|---------|-------|--------|-------|--------|
| | a | b | a | b |
| 9 (小4) | 0.687 | 61.390 | 0.652 | 56.992 |
| 10 (小5) | 0.752 | 70.461 | 0.730 | 68.091 |
| 11 (小6) | 0.782 | 75.106 | 0.803 | 78.846 |

■判定基準

| 肥満度 | 判定 |
|---------------|-------|
| 50%以上 | 高度肥満 |
| 30 ~ 49.9% | 中等度肥満 |
| 20 ~ 29.9% | 軽度肥満 |
| -19.9 ~ 19.9% | 正常 |
| -29.9 ~ -20% | やせ |
| -30%以下 | 高度やせ |

3 調査結果の掲載方法

全道・全国平均正答率との比較として、「記号」や「文言」で表します。

1. 「cm・m・kg・回・点・秒」の比較、表示方法

| | ポイント差 | 文言 | 記号 |
|--|------------------|-------|----|
| | +5以上 | 上回る | △ |
| | +0.1から +4.9以内 | やや上回る | ◇ |
| | 0から-1以内 | ほぼ同程度 | ≒ |
| | -1.1から -4.9以内 | やや下回る | ◆ |
| | -5以下 | 下回る | ▼ |

2. 「%」の比較、表示方法

| | ポイント差 | 文言 | 記号 |
|--|--------------------|-------|----|
| | +10%以上 | 上回る | △ |
| | +0.1%から +9.9%以内 | やや上回る | ◇ |
| | 0%から-2%以内 | ほぼ同程度 | ≒ |
| | -2.1%から -9.9%以内 | やや下回る | ◆ |
| | -10%以下 | 下回る | ▼ |

恵庭市における「実技の結果・体格と肥満度に関する調査結果・児童生徒質問用紙調査の結果・学校質問紙調査の結果」の実際の結果平均数値については、他市町村等との単純比較や序列化などに結びつき、調査の目的を損ないかねないとの考えから、公表しません。
同様の理由により、市内小・中学校ごとの結果数値についても公表しません。

4 北海道の調査結果について

北海道教育委員会としての調査結果報告書については、下記のアドレスから、PDF形式でダウンロードすることができます。

北海道（公立）における調査結果報告書

➡ <http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ktk/H27tairyokutyousapoint.htm>

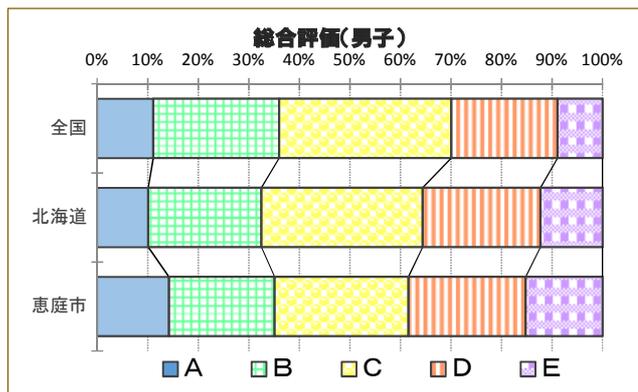
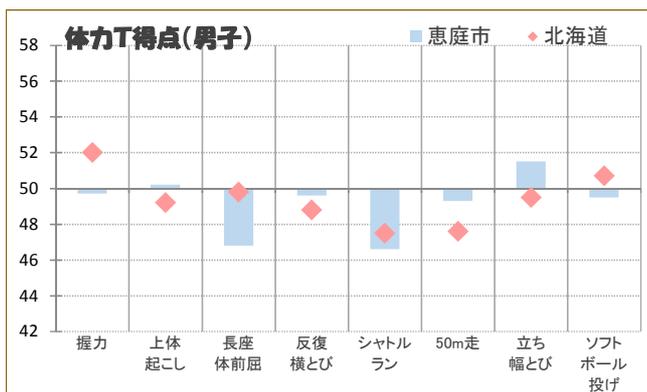


5 実技の結果

<小学校男子>

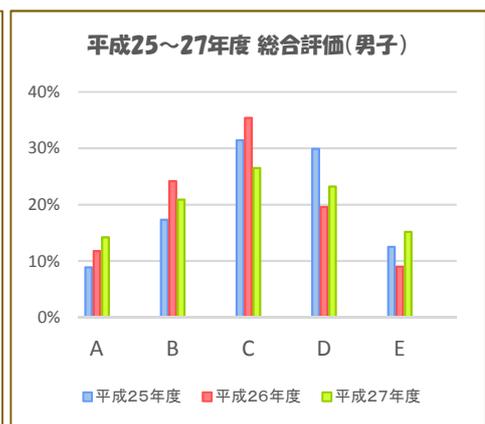
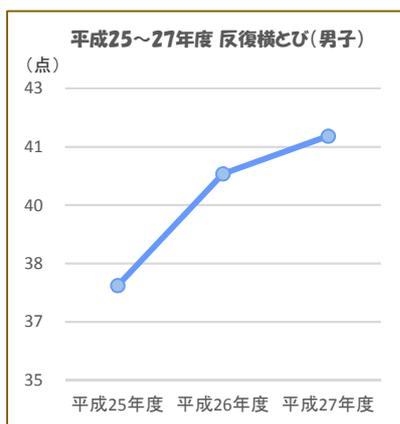
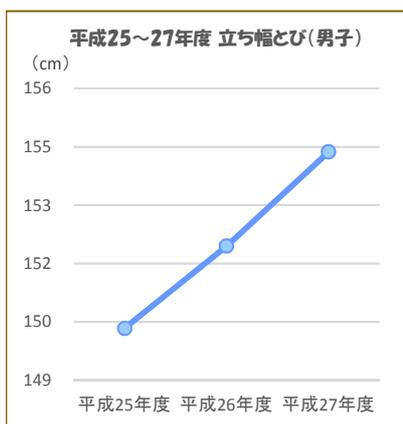
- 全国平均と比較して「立ち幅とび」は、やや上回っており、「握力・上体起こし・反復横とび・50m走・ソフトボール投げ」はほぼ同程度である。
- 全道平均と比較して「上体起こし・反復横とび・50m走・立ち幅とび」は、やや上回っており、「握力・ソフトボール投げ」はほぼ同程度である。

| 小学校（男子） | 全国 | 北海道 | 恵庭市 (全国と比較) | 恵庭市 (全道と比較) | 小学校（男子） | 全国 | 北海道 | 恵庭市 (全国と比較) | 恵庭市 (全道と比較) |
|---------------|--------|--------|----------------|----------------|--------------|-------|-------|----------------|----------------|
| 握力 (kg) | 16.45 | 17.20 | ≒ | ≒ | ソフトボール投げ (m) | 22.52 | 23.11 | ≒ | ≒ |
| 上体起こし (回) | 19.58 | 19.13 | ≒ | ◇ | 体力合計点 (点) | 53.80 | 52.67 | ◆ | ≒ |
| 長座体前屈 (cm) | 33.05 | 32.88 | ◆ | ◆ | 総合評価 (%) | A | 11.1% | ◇ | ◇ |
| 反復横とび (点) | 41.60 | 40.64 | ≒ | ◇ | | B | 24.9% | ◆ | ≒ |
| 20mシャトルラン (回) | 51.64 | 46.31 | ▼ | ◆ | | C | 34.1% | ◆ | ◆ |
| 50m走 (秒) | 9.38 | 9.61 | ≒ | ◇ | | D | 21.0% | ◇ | ≒ |
| 立ち幅とび (cm) | 151.24 | 150.09 | ◇ | ◇ | | E | 8.9% | ◇ | ◇ |



■平成25・26年度との比較■

「反復横とび・立ち幅とび」は、やや上回っており平均記録が伸びている。
総合評価は、A評価の割合が増加している。また、B・C評価の割合が減少し、D・E評価の割合が増加している。

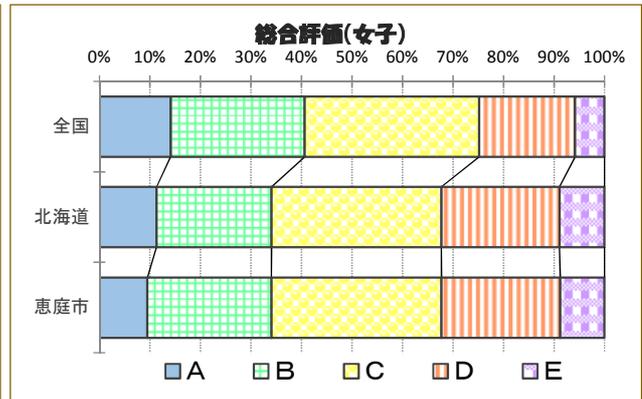
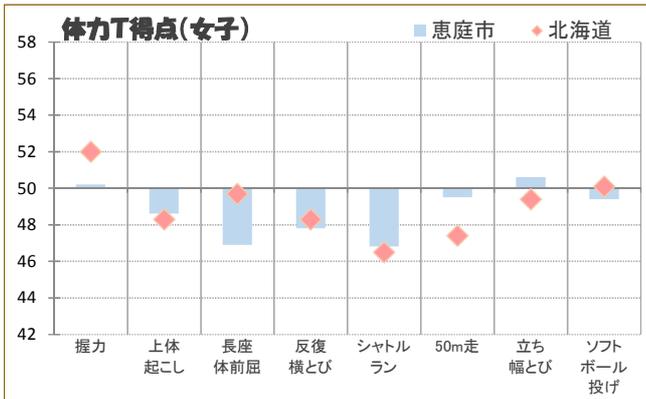


<小学校女子>

◎全国平均と比較して「立ち幅とび」は、やや上回っており、「握力・上体起こし・50m走・ソフトボール投げ」は、ほぼ同程度である。

◎全道平均と比較して「上体起こし・20mシャトルラン・50m走・立ち幅とび」は、やや上回っており、「握力・反復横とび・ソフトボール投げ」は、ほぼ同程度である。

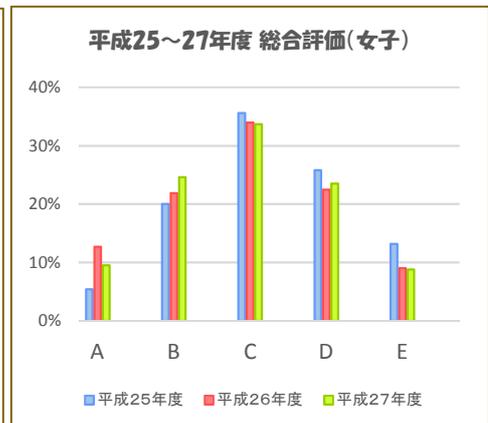
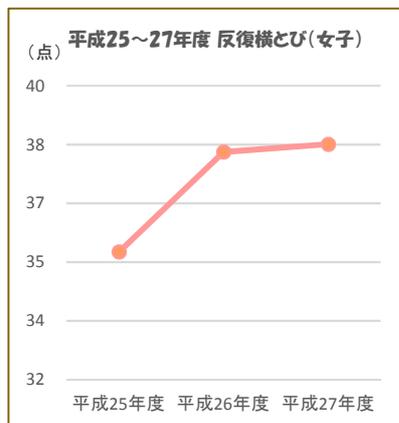
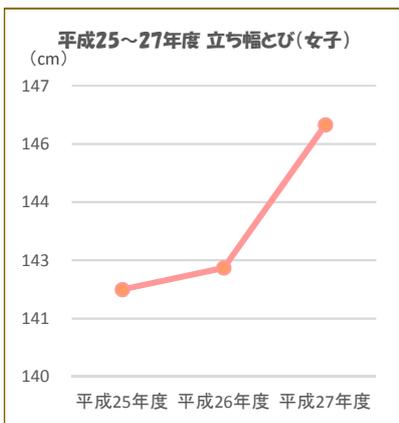
| 小学校（女子） | 全国 | 北海道 | 恵庭市 (全国と比較) | 恵庭市 (全道と比較) | 小学校（女子） | 全国 | 北海道 | 恵庭市 (全国と比較) | 恵庭市 (全道と比較) |
|---------------|--------|--------|----------------|----------------|--------------|-------|-------|----------------|----------------|
| 握力 (kg) | 16.05 | 16.79 | ≒ | ≒ | ソフトボール投げ (m) | 13.77 | 13.80 | ≒ | ≒ |
| 上体起こし (回) | 18.42 | 17.51 | ≒ | ◇ | 体力合計点 (点) | 55.18 | 53.56 | ◆ | ≒ |
| 長座体前屈 (cm) | 37.44 | 37.19 | ◆ | ◆ | 総合評価 (%) | A | 14.1% | ◆ | ≒ |
| 反復横とび (点) | 39.55 | 38.31 | ◆ | ≒ | | B | 26.5% | ≒ | ◇ |
| 20mシャトルラン (回) | 40.69 | 35.03 | ▼ | ◇ | | C | 34.5% | ≒ | ◇ |
| 50m走 (秒) | 9.62 | 9.83 | ≒ | ◇ | | D | 19.0% | ◇ | ◇ |
| 立ち幅とび (cm) | 144.77 | 143.57 | ◇ | ◇ | | E | 5.8% | ◇ | ≒ |



■平成25・26年度と比較■

「反復横とび・立ち幅とび」はやや上回っており、平均点が伸びている。

総合評価については、B評価の割合が増加し、C・E評価の割合が減少傾向である。

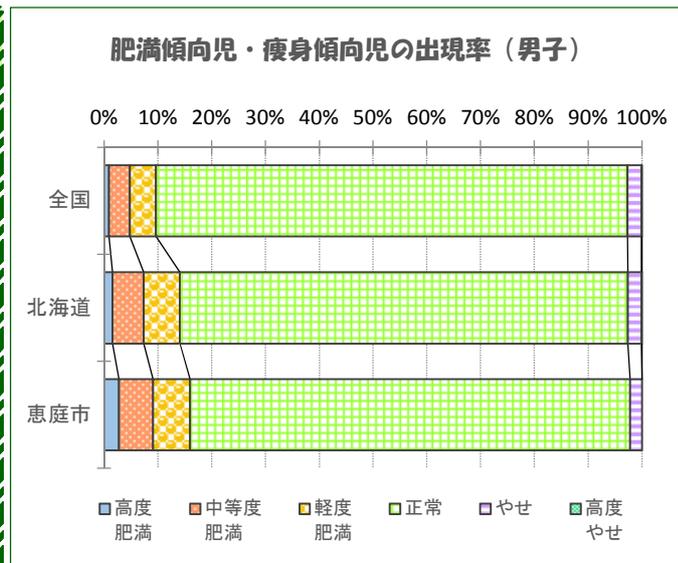


6 体格と肥満度に関する調査結果

<小学校男子>

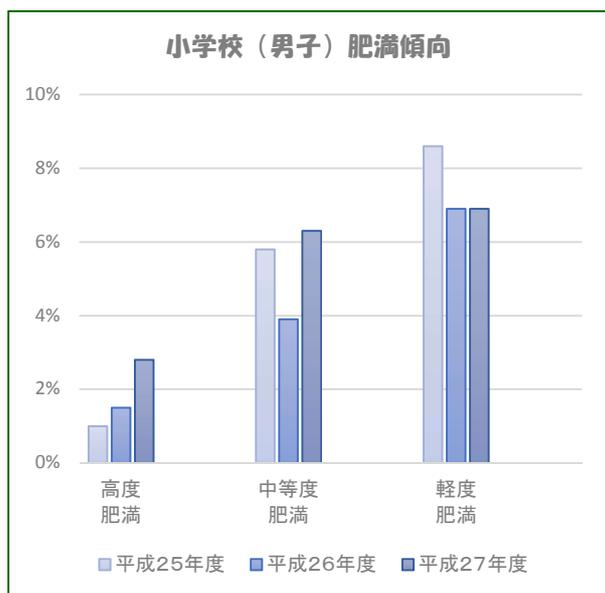
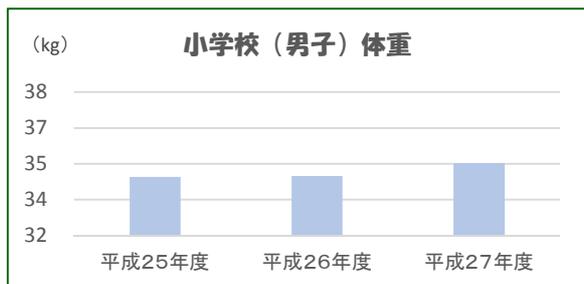
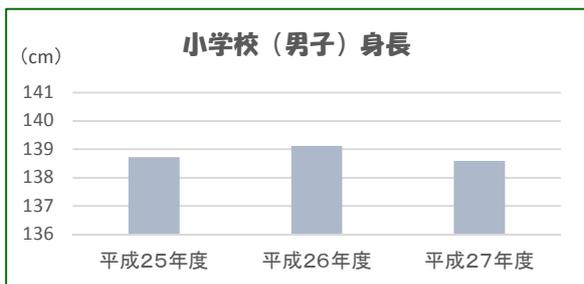
- 全国平均と比較して、身長はほぼ同じ程度。体重はやや上回っているため、肥満傾向児を比較すると、やや上回っており、正常児童は下回っている。
- 全道平均と比較して、身長・体重ともにほぼ同じ程度である。肥満傾向児を比較すると、やや上回っており、正常児童を比較すると、ほぼ同じ程度である。

| 小学校（男子） | | 全国 | 北海道 | 恵庭市 (全国と比較) | 恵庭市 (全道と比較) |
|-----------------------------|-------|--------|--------|----------------|----------------|
| 身長 (cm) | | 138.83 | 139.50 | ≒ | ≒ |
| 体重 (kg) | | 33.94 | 35.36 | ≒ | ≒ |
| 肥満傾向児・ 痩身傾向児の 出現率 (%) | 高度肥満 | 0.9% | 1.6% | ◇ | ◇ |
| | 中等度肥満 | 3.9% | 5.8% | ◇ | ◇ |
| | 軽度肥満 | 4.9% | 6.7% | ◇ | ◇ |
| | 正常 | 87.6% | 83.4% | ◆ | ≒ |
| | やせ | 2.6% | 2.5% | ≒ | ≒ |
| | 高度やせ | 0.1% | 0.1% | ≒ | ≒ |



■平成25・26年度と比較■

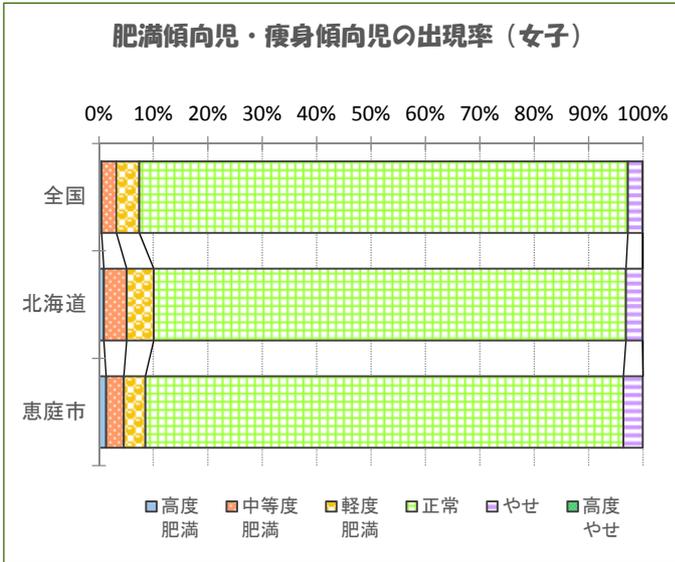
過去2年間と比較して、身長・体重ともに大きな変化がないが、肥満傾向では、平成27年度が1番肥満率が高い。体育の時間だけでなく、日頃から運動に親しみ、日常生活の「歩くこと」の重要性をあらためて呼びかける必要がある。



<小学校女子>

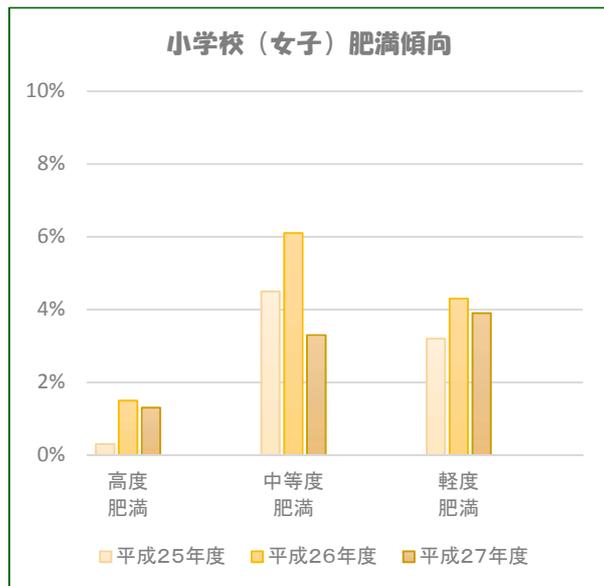
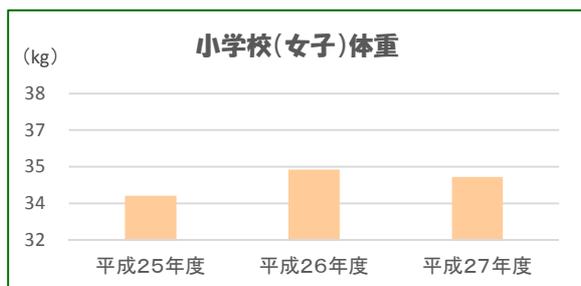
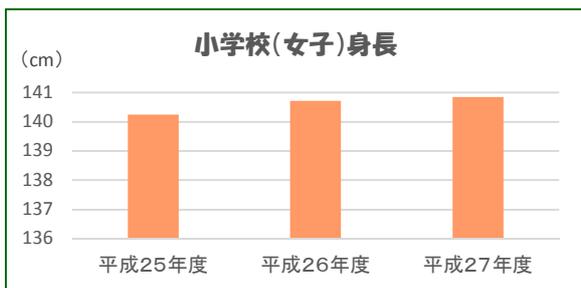
- 全国平均と比較して、身長・体重ともにやや上回っている。肥満傾向児を比較すると、わずかであるが上回っており、正常児童は、ほぼ同程度である。
- 全道平均と比較して、身長・体重ともにほぼ同程度である。肥満傾向児を比較すると、高度肥満児童はやや上回っており、他の肥満傾向は、ほぼ同程度である。正常児童を比較すると、やや上回っている。

| 小学校(女子) | | 全国 | 北海道 | 恵庭市 (全国と比較) | 恵庭市 (全道と比較) |
|-----------------------------|-------|--------|--------|----------------|----------------|
| 身長 (cm) | | 140.01 | 140.79 | ◇ | ≒ |
| 体重 (kg) | | 33.83 | 34.87 | ◇ | ≒ |
| 肥満傾向児・ 痩身傾向児の 出現率 (%) | 高度肥満 | 0.5% | 0.9% | ◇ | ◇ |
| | 中等度肥満 | 2.7% | 4.2% | ◇ | ≒ |
| | 軽度肥満 | 4.2% | 5.0% | ≒ | ≒ |
| | 正常 | 89.8% | 86.9% | ≒ | ◇ |
| | やせ | 2.7% | 3.0% | ◇ | ◇ |
| | 高度やせ | 0.1% | 0.1% | ≒ | ≒ |



■平成25・26年度と比較■

身長は、平成27年度が一番高いが大きな変化はない。体重も大きな変化はない。肥満傾向について、肥満率は平成26年度と比較すると減少傾向である。正常は平成27年度が1番高い。しかし、痩身傾向児が増加しているため、成長期に食べることの大切さを「食育」を通して、呼びかける必要がある。



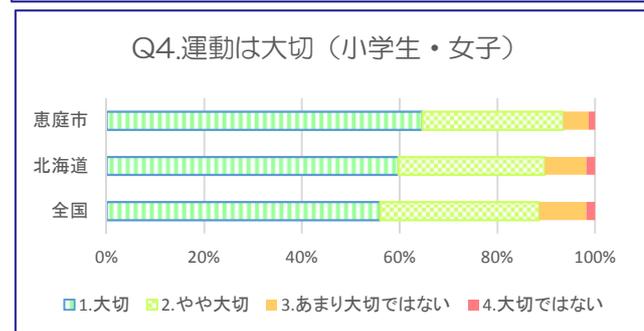
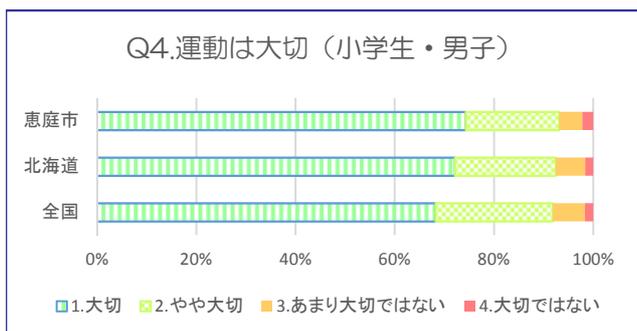
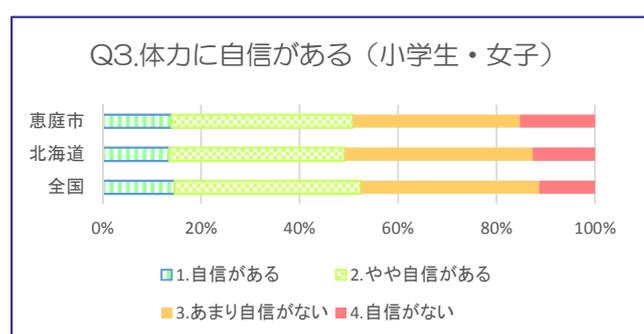
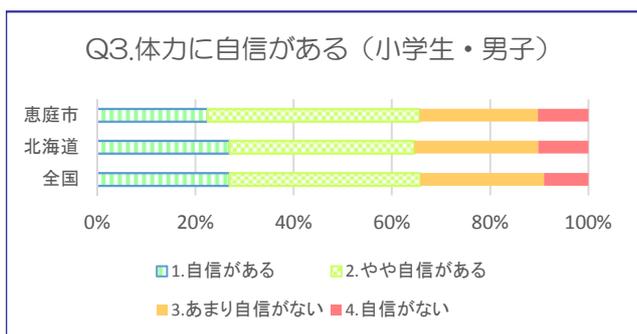
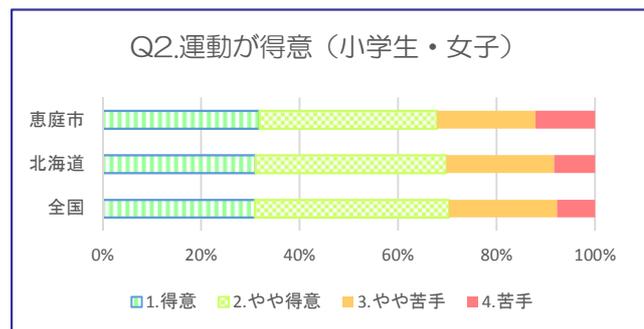
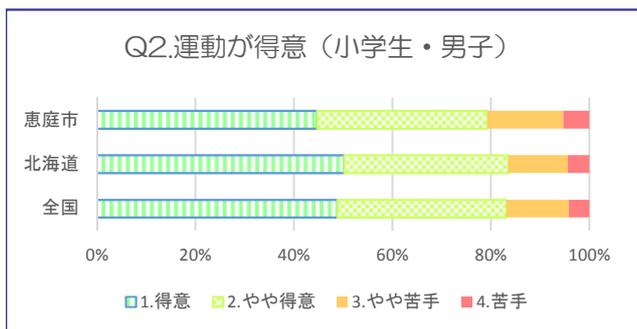
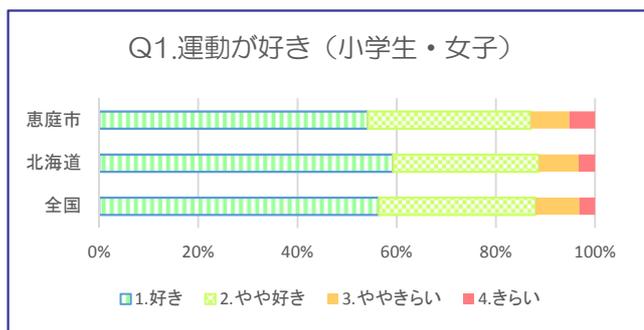
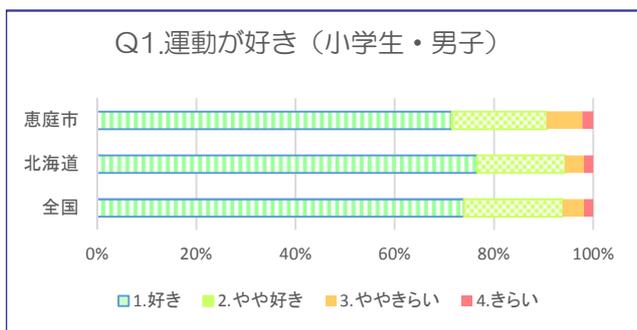
7 児童生徒質問用紙調査の結果

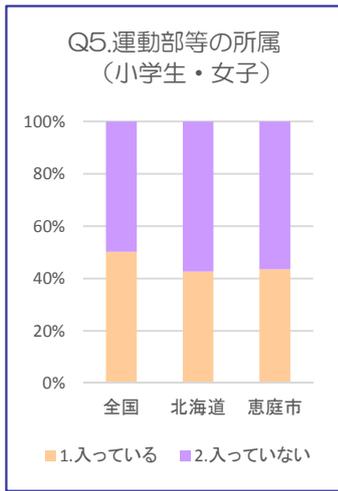
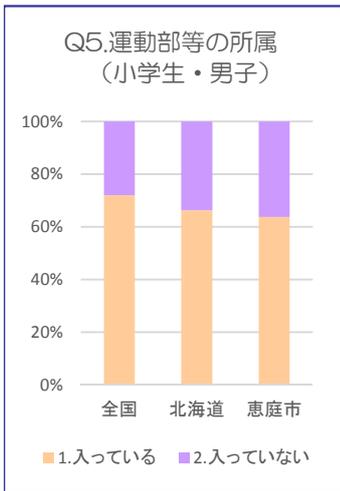
Q1. 運動が「好き／やや好き」と回答した割合について、全国全道平均と比較し、男子はやや下回っており、女子はほぼ同じ程度である。

Q2. 運動が「得意／やや得意」と回答した割合について、全国平均と比較し、男女ともにやや下回っている。全道平均と比較した場合の割合は、男子はやや下回っており、女子はほぼ同じ程度である。

Q3. 体力に「自身がある／やや自身がある」と回答した割合について、全国平均と比較し、男女ともにほぼ同じ程度。全道平均と比較した場合の割合は、男子はやや下回っており、女子はやや上回っている。

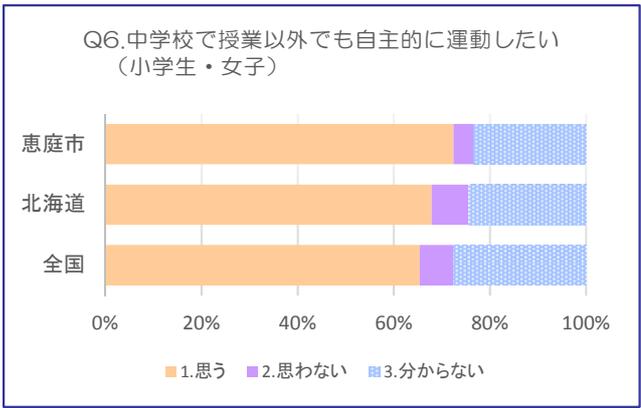
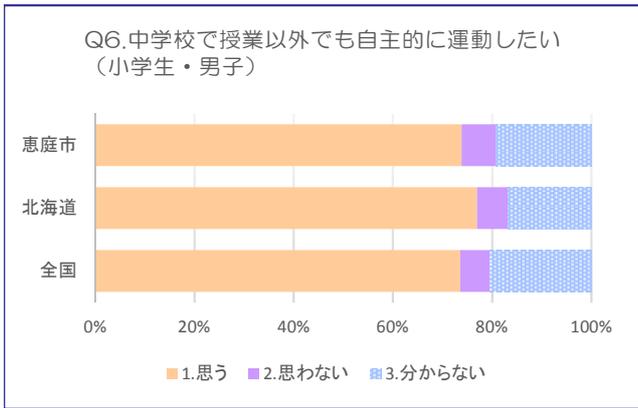
Q4. 運動が「大切／やや大切」と回答した割合について、全国全道平均と比較し、男子はわずかに上回っており、女子は上回っている。





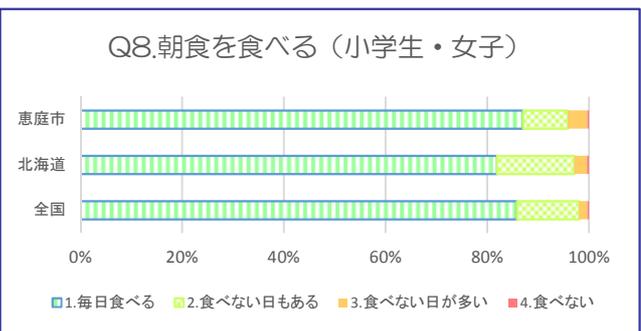
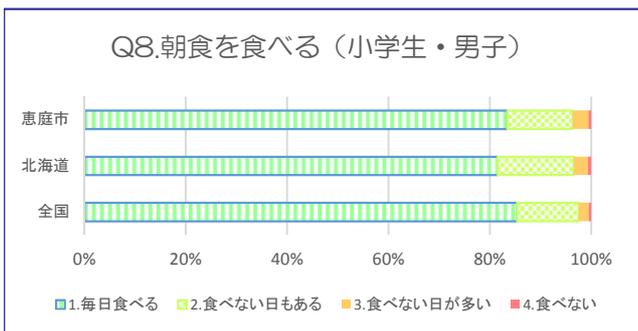
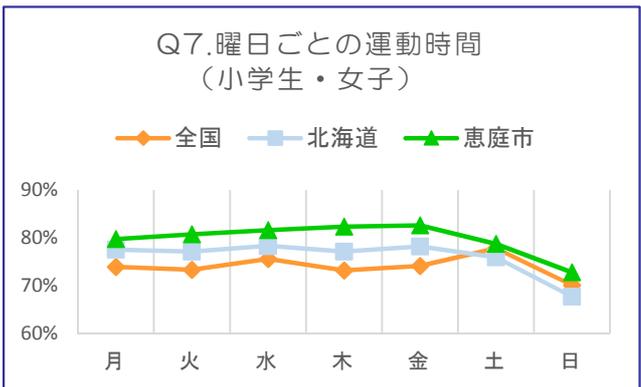
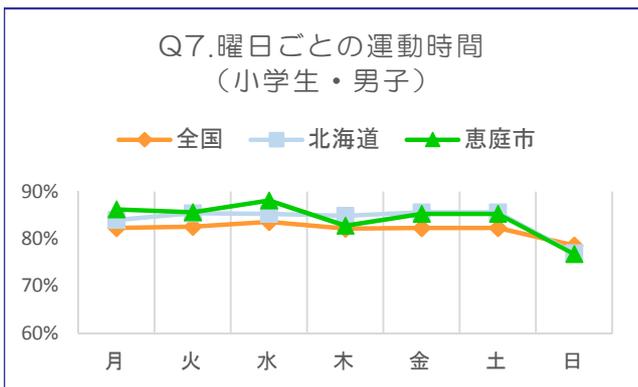
Q5.『運動部等の所属』に「入っている」と回答した割合について、全国平均と比較して、男女ともに下回っている。また、全道平均と比較して、男子はうやや下回っているが、女子はわずかに上回っている。

Q6.『中学校で授業以外でも自主的に運動したい』と「思う」と回答した割合について、全国平均と比較して、男女ともに上回っている。また、全道平均と比較して、男子はやや下回っており、女子は上回っている。



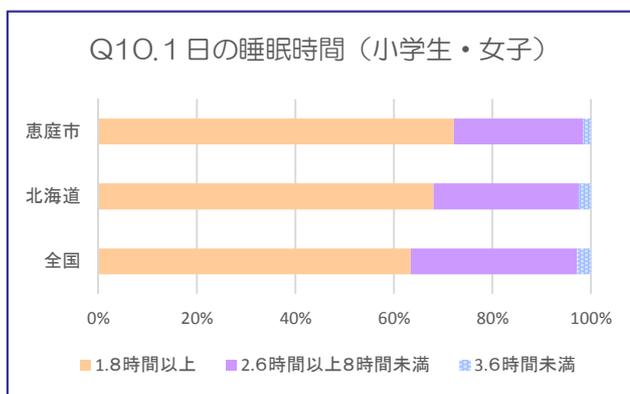
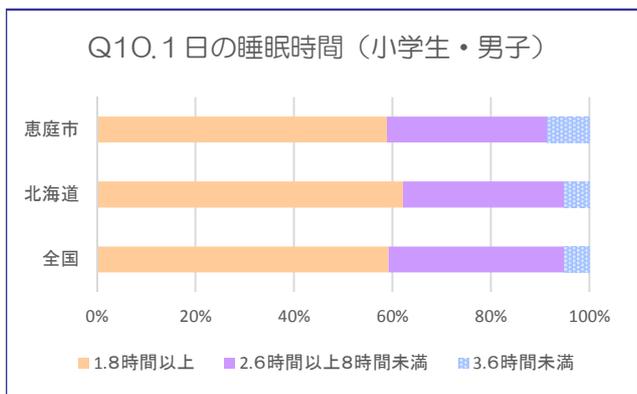
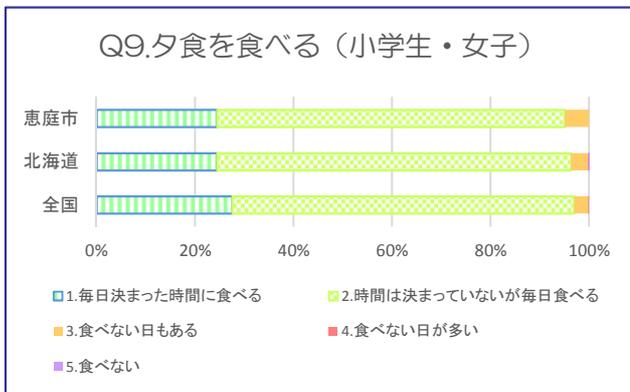
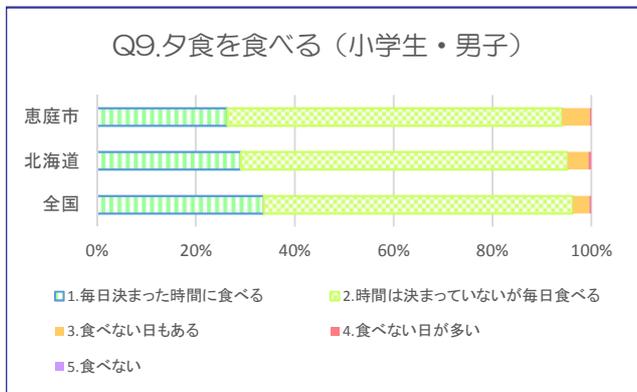
Q7.『曜日ごとの運動時間』について、男子は日曜日以外のすべての曜日の実施率が85%を越えており、日曜日でも75%を越えている。月曜日、火曜日、水曜日は全国・全道平均いずれの平均実施率をやや上回っている。女子は日曜日以外のすべての曜日の実施率が80%前後と高く、日曜日でも70%を越えている。また、すべての曜日で全国・全道平均を上回っている。

Q8. 全国平均と比較し、『朝食を「毎日食べる」』と回答した割合について、男子はほぼ同じ程度であるが、女子はやや上回っている。また、全道平均と比較して、男女ともに上回っている。

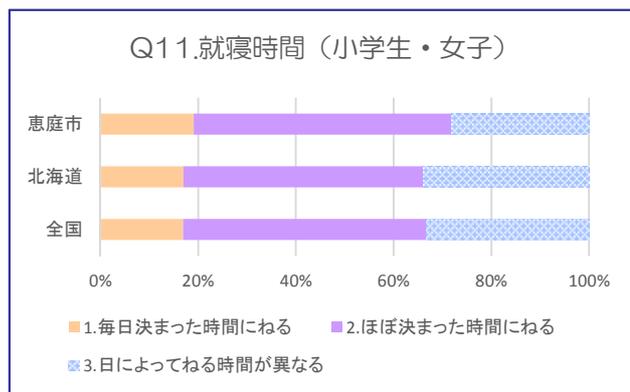
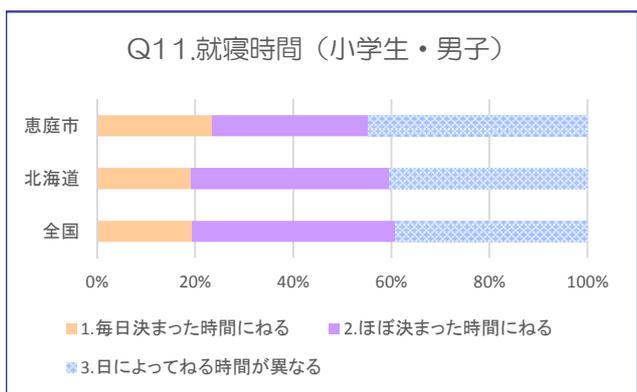


Q9.『夕食を「毎日決まった時間に食べる／時間は決まっていないが毎日食べる」』と回答した割合について、全国平均と比較して、男子はやや下回っており、女子はほぼ同じ程度。全道平均と比較すると、男女ともにほぼ同じ程度である。

Q10.『1日の睡眠時間』について、男女ともに「8時間以上」と回答した割合が最も多く、男子は全国と比較して、ほぼ同じ程度、全道と比較して、やや下回っている。女子は全国全道平均と比較しても多い。「6時間未満」と回答した児童の割合はわずかであるが、男子では全国全道と比較して、上回っている。



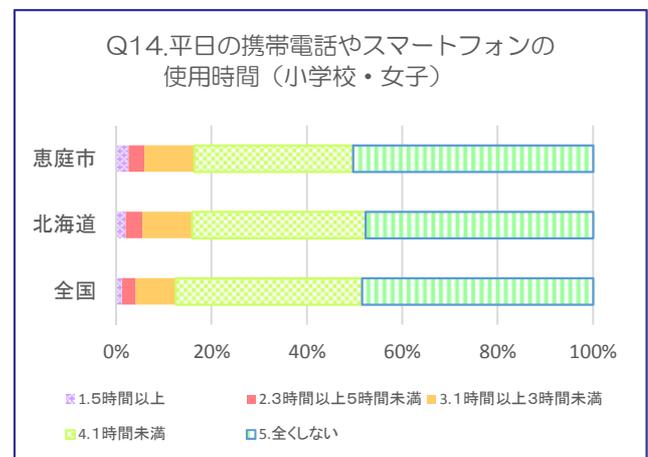
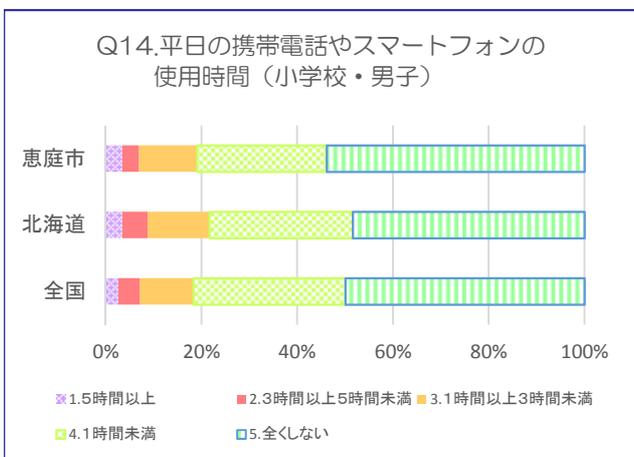
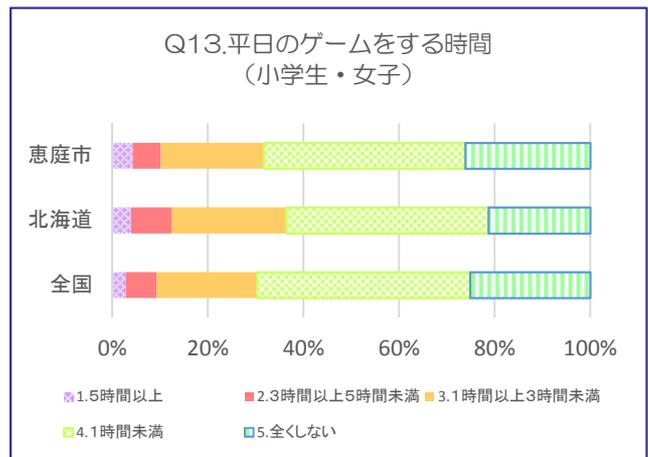
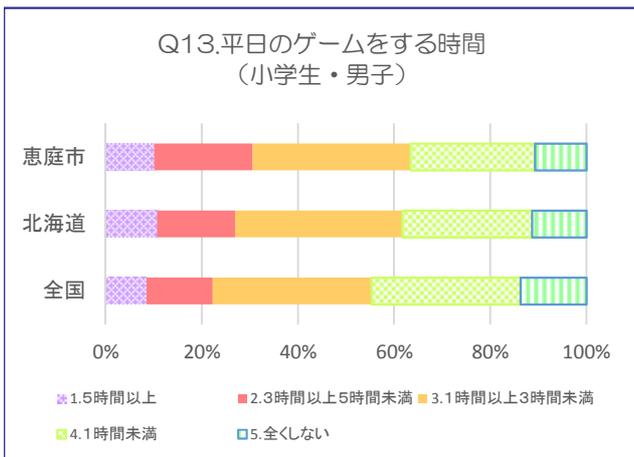
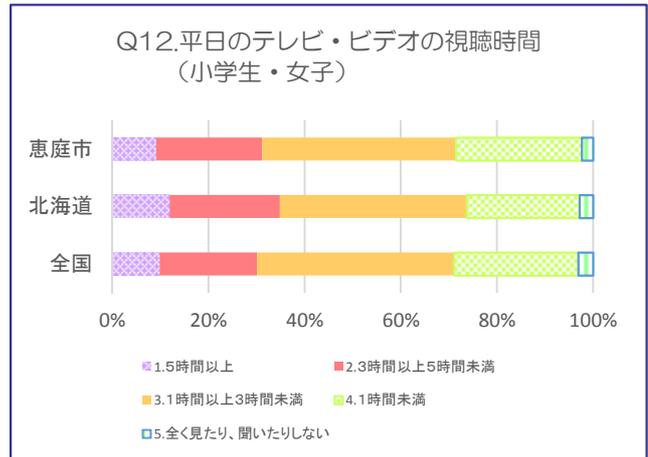
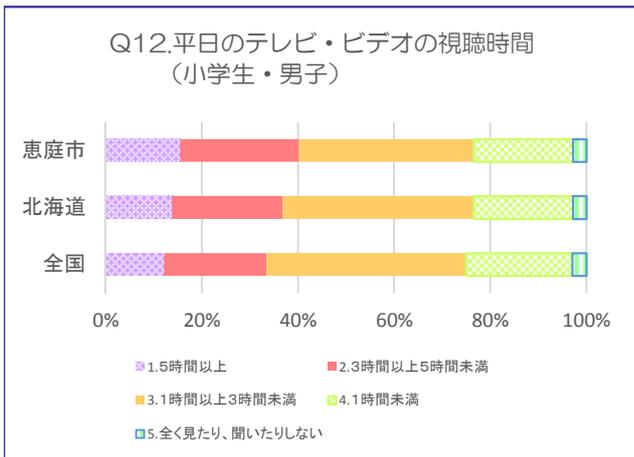
Q11.『就寝時間は「毎日決まった時間にねる」』と回答した割合について、全国全道平均と比較して、男女ともに上回っている。しかし、男子は「日によってねる時間が異なる」と回答した割合も、全国全道平均と比較して多い。



Q12.『平日のテレビ・ビデオの視聴時間』について、男女ともに「1時間以上～3時間未満」と回答した割合が最も高く、男子では全国全道平均と比較してやや下回っており、女子はやや上回っている。

Q13.『平日のテレビゲームをする時間』について、男子は「1時間以上～3時間未満」と回答した割合が最も高いが、全国全道と比較してほぼ同じ程度である。また、3時間以上の長時間と回答した割合も全国全道平均と比較して高い。女子は「1時間未満」と回答した割合が最も高く、全国平均と比較して、やや下回っており、全道平均と比較して、ほぼ同じ程度である。

Q14.『平日の携帯電話やスマートフォンの使用時間』について、男女ともに「全くしない」と回答した割合が最も高く、全国全道平均と比較しても、男女ともに高い。

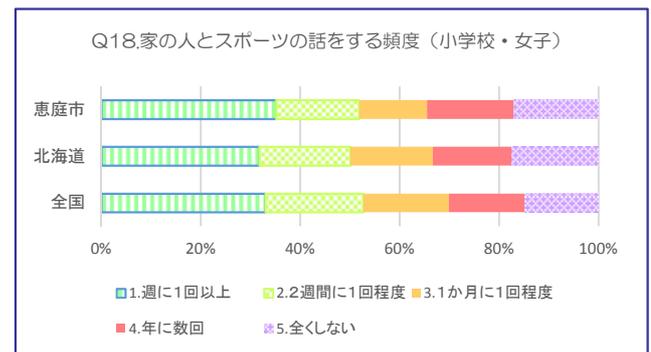
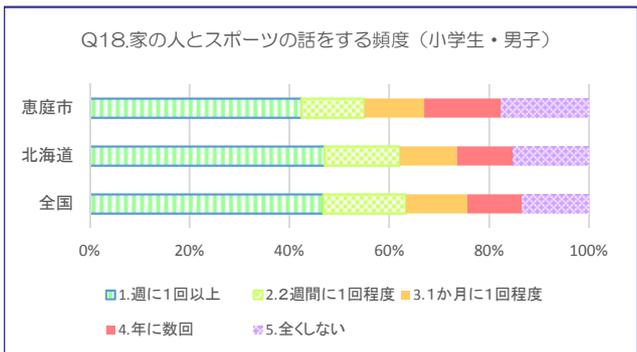
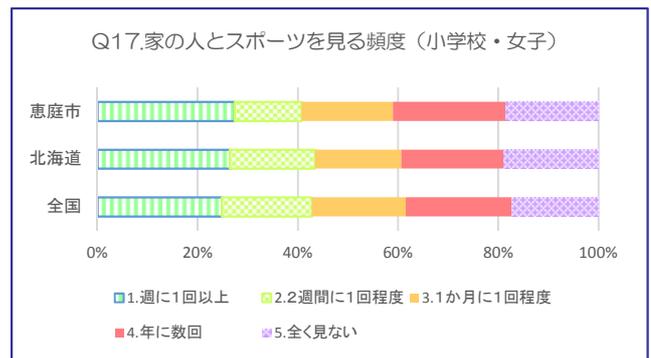
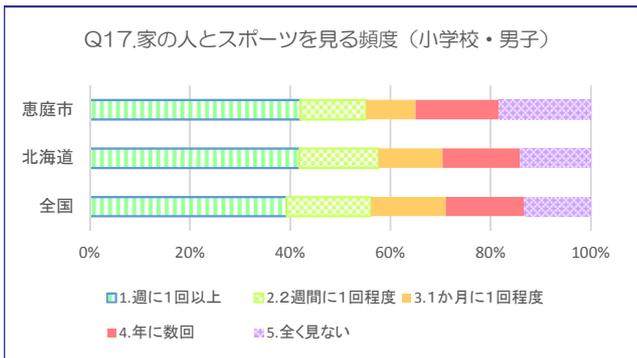
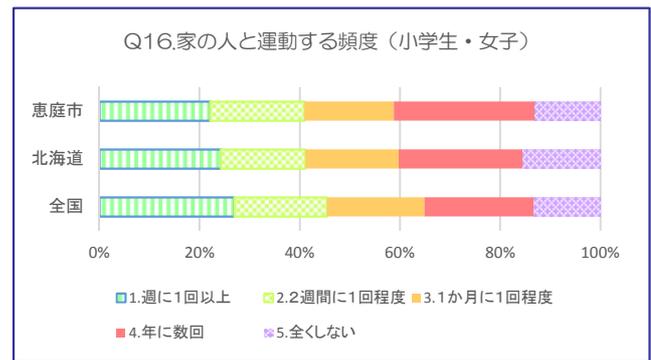
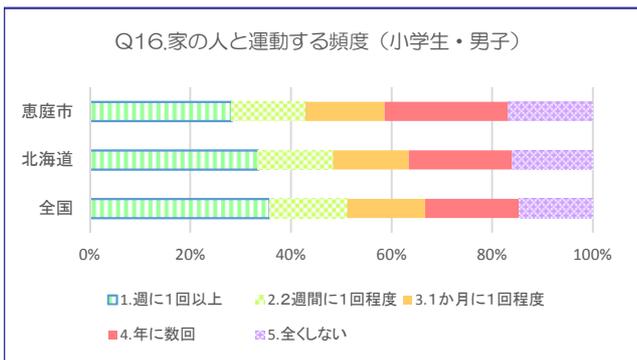
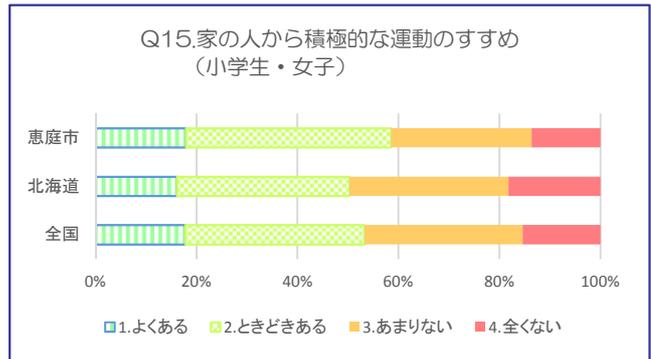
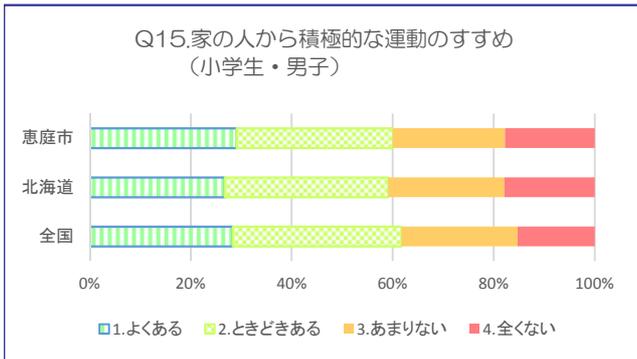


Q15.『家の人から積極的な運動のすすめ』が「よくある／ときどきある」と回答した割合について、全国平均と比較して、男子はほぼ同じ程度であり、女子は上回っている。また、全道平均と比較して、男女ともに上回っている。

Q16.『家の人と運動する頻度』について、男子は「週に1回以上」と回答した割合が最も高いが、全国全道平均と比較して、やや下回っている。女子は「年に数回」と回答した割合が最も高く、全国全道平均と比較して、やや上回っている。

Q17.『家の人とスポーツを見る頻度』について、男女ともに「週に1回以上」と回答した割合が最も高く、全国全道平均と比較して、男女ともにやや上回っている。

Q18.『家の人とスポーツの話をする頻度』について、男女ともに「週に1回以上」と回答した割合が最も高い。全国全道平均と比較すると、男子はやや下回っているが、女子はやや上回っている。

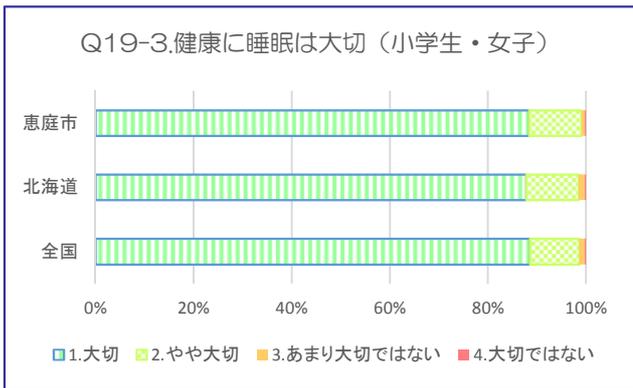
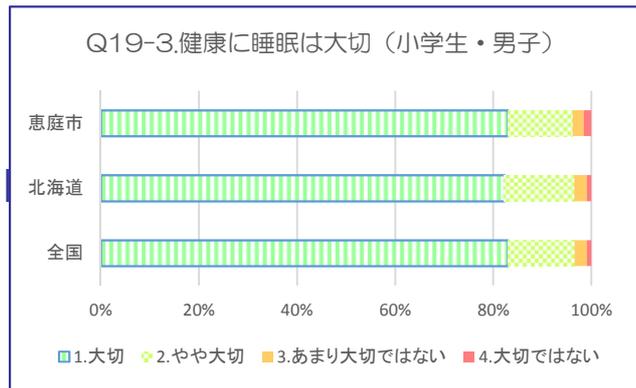
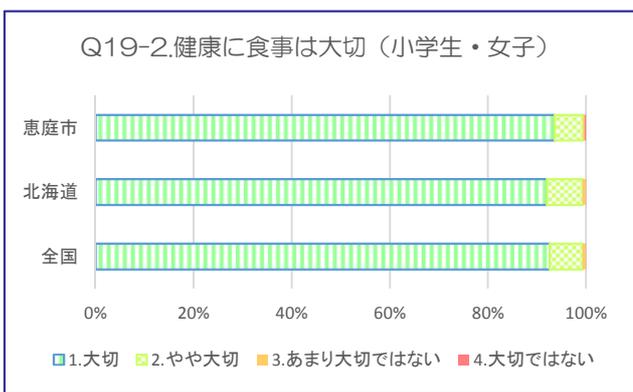
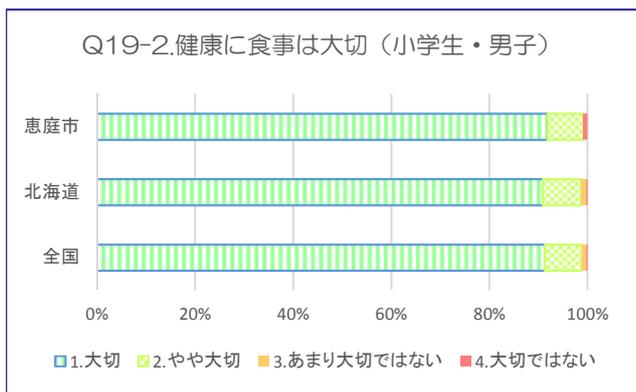
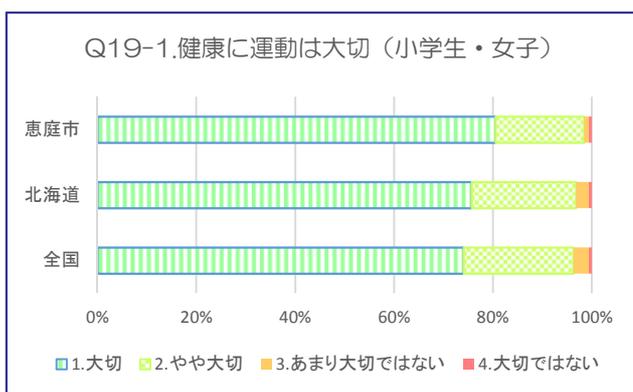
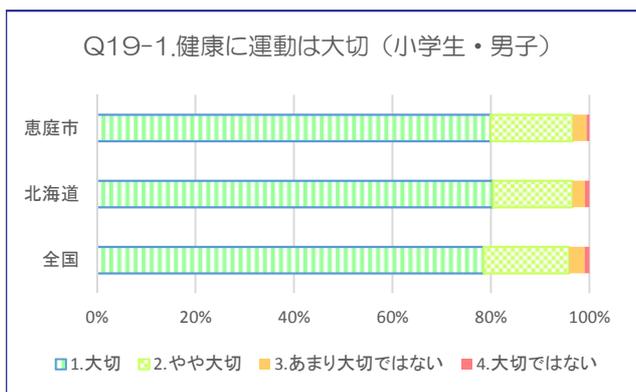


Q 19 健康でいるために大切なこと

Q19-1.健康に運動は「大切／やや大切」と回答した割合について、全国全道平均と比較して、男女ともにやや上回っている。

Q19-2.健康に食事は「大切／やや大切」と回答した割合について、全国全道平均と比較して、男女とも大きな差はなかった。

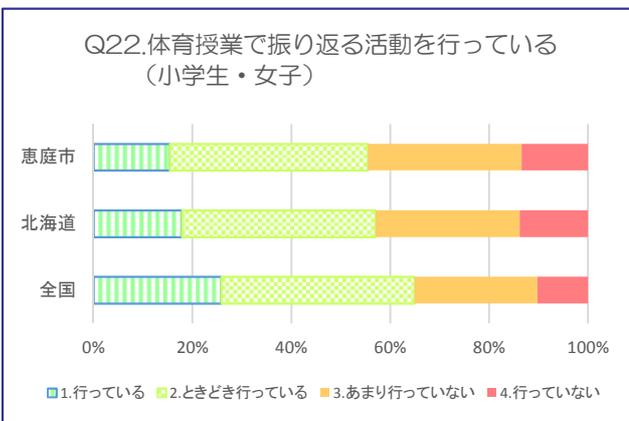
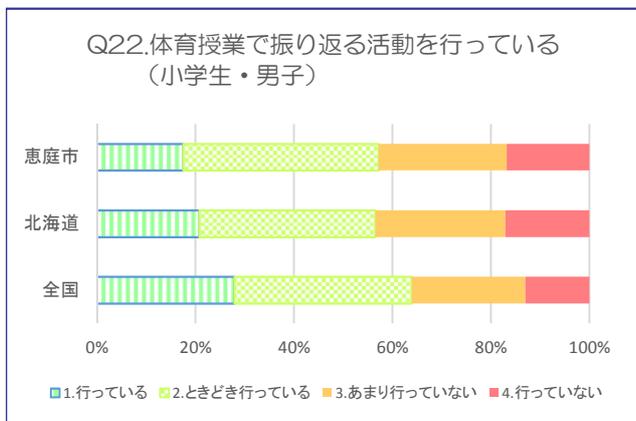
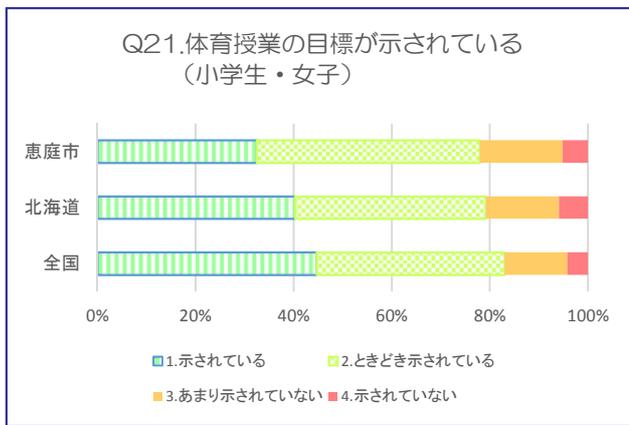
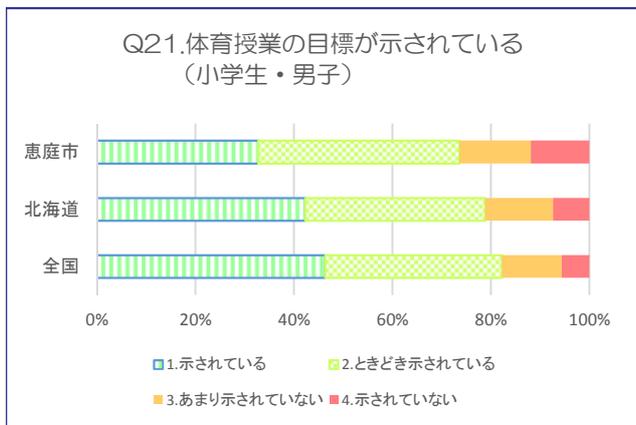
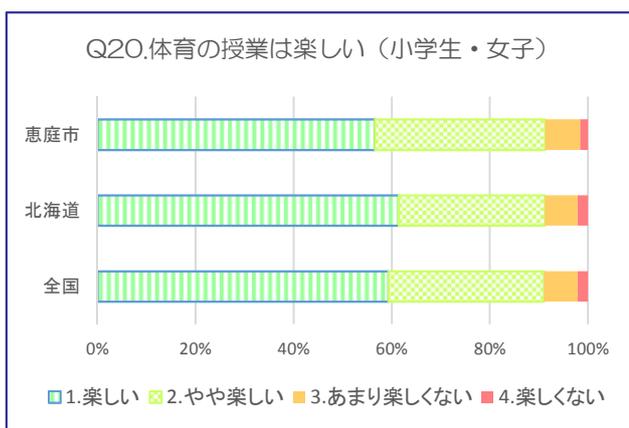
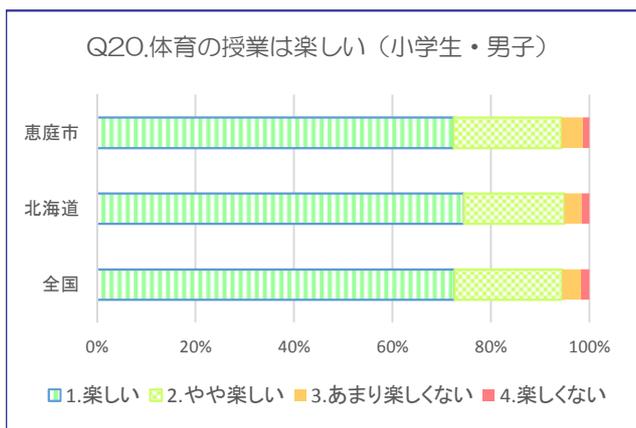
Q19-3.健康に睡眠は「大切／やや大切」と回答した割合について、全国全道平均と比較して、男女ともに大きな差はなかった。



Q20.体育の授業が「楽しい／やや楽しい」と回答した割合について、全国全道平均と比較して男女とも大きな差はなかった。

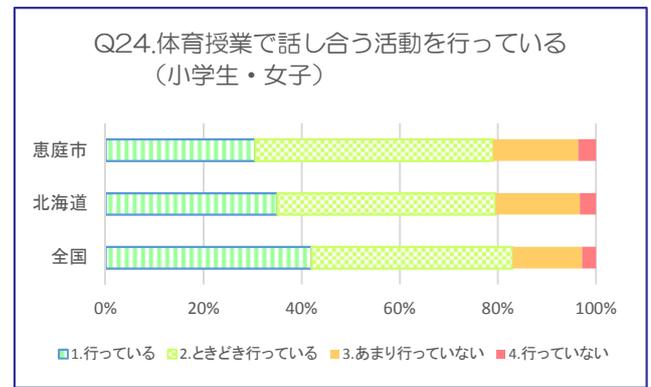
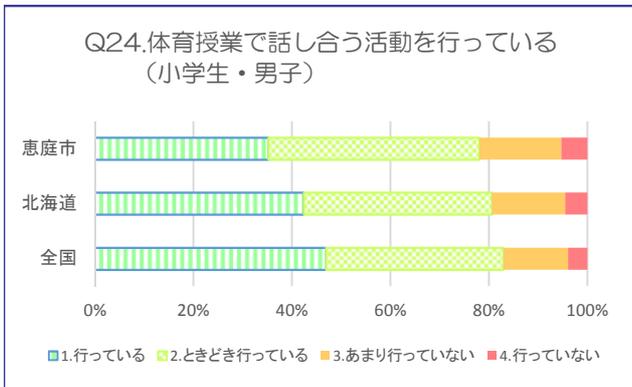
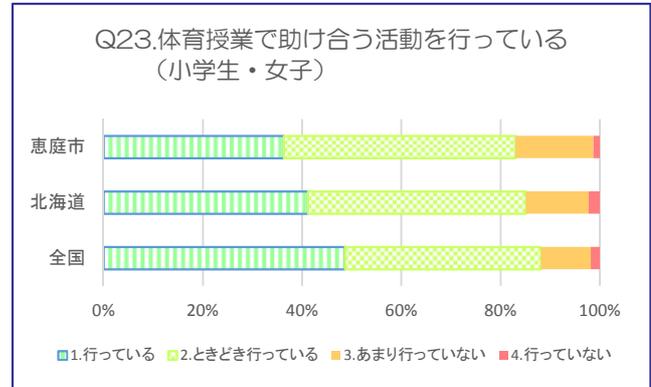
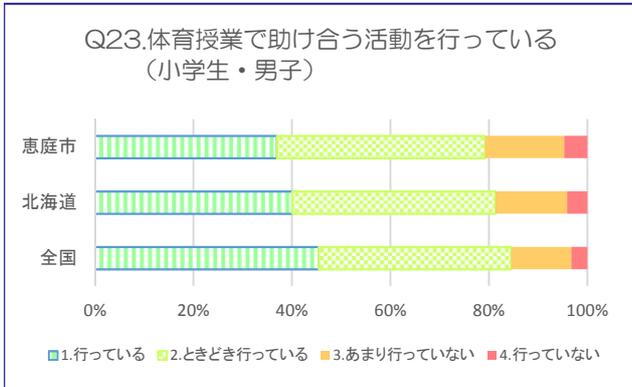
Q21.体育授業の目標が「示されている／ときどき示されている」と回答した割合について、全国平均と比較して、男女ともにやや下回っている。また、全道平均と比較して、男子はやや下回っており、女子はほぼ同じ程度である。

Q22.体育の授業で振り返る活動を「行っている／ときどき行っている」と回答した割合について、全国平均と比較して、男女ともにやや下回っている。また、全道平均と比較すると、男子は大きな差はなく、女子は若干だが低かった。



Q23. 体育授業で助け合う活動を行っている／ときどき行っている」と回答した割合について、全国平均と比較して、男女ともにやや下回っている。また、全道平均と比較ても、男女とも若干だが低い。

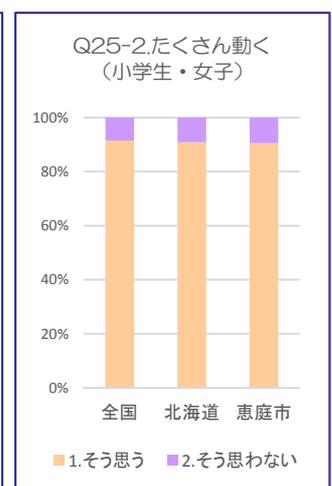
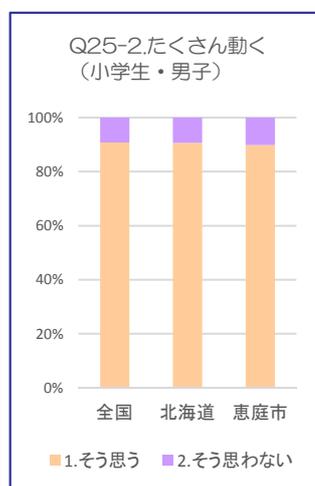
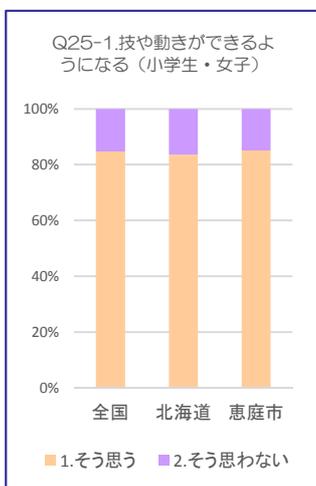
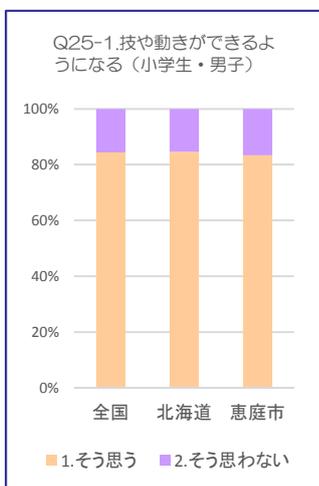
Q24. 体育授業で話し合う活動を行っている／ときどき行っている」と回答した割合について、全国平均と比較して、男女ともにやや下回っている。また、全道平均と比較して、男子はやや下回っており、女子はほぼ同じ程度である。



Q 25 体育の授業について

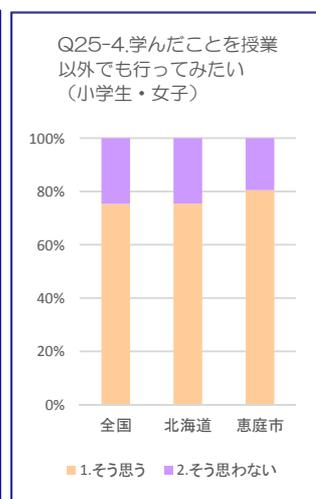
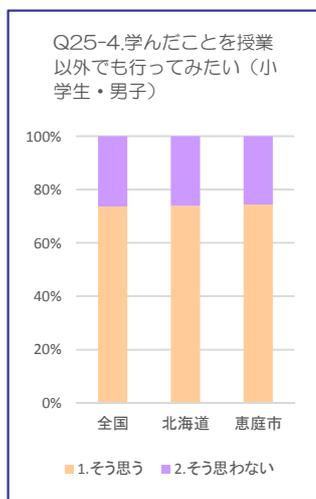
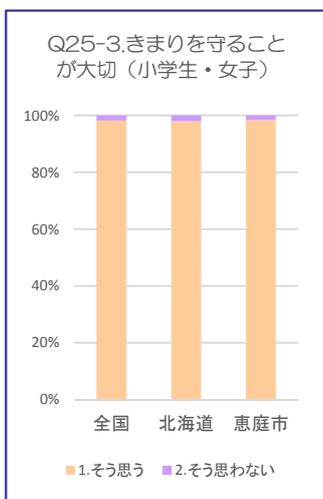
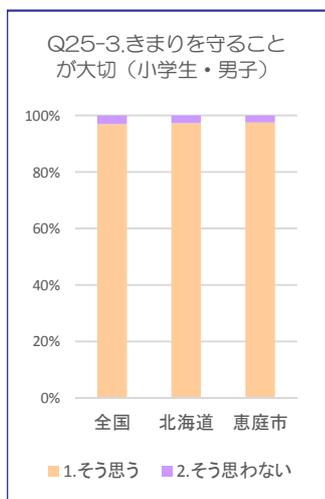
Q25-1. 『体育の授業では、技や動きができるようになる』について、「そう思う」と回答した割合は、全国全道平均と比較して、男子はほぼ同じ程度、女子はわずかに上回っている。

Q25-2. 『体育の授業では、たくさん動く』について、「そう思う」と回答した割合は、全国全道平均と比較して、男女ともにほぼ同じ程度である。



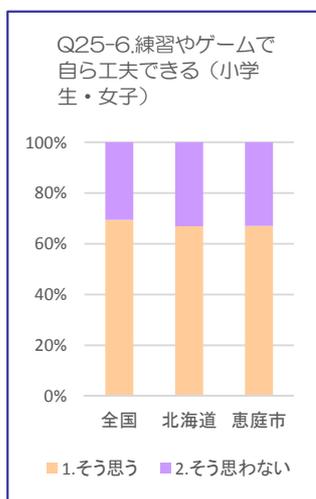
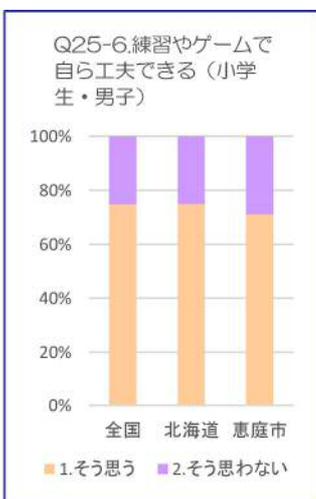
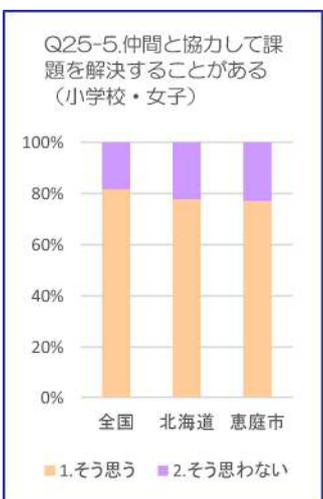
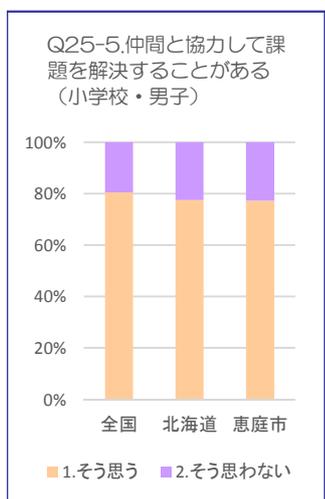
Q25-3.『体育の授業では、きまりを守ることが大切』について、「そう思う」と回答した割合は、全国全道平均と比較して、男女ともに、わずかに上回っている。

Q25-4.『体育の授業で、学んだことを授業以外でも行ってみたい』について、「そう思う」と回答した割合は、全国全道平均と比較して、男子ではわずかに上回り、女子でも上回った。



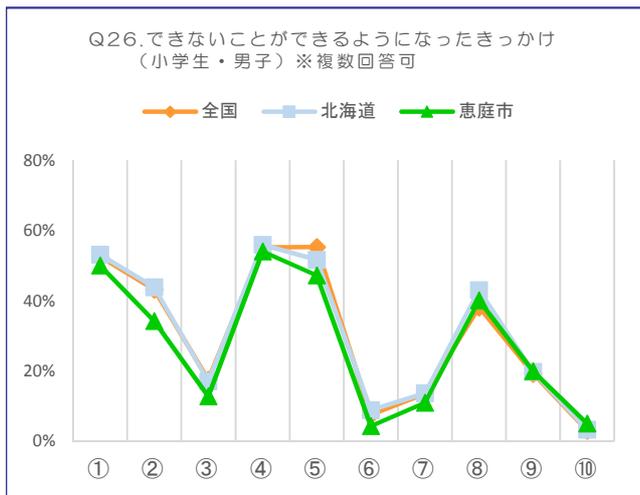
Q25-5.『体育の授業では、仲間と協力して課題を解決することがある』について、「そう思う」と回答した割合は、全国平均と比較して、男女ともにやや下回っている。また、全道平均と比較すると、男女ともにほぼ同じ程度である。

Q25-6.『体育の授業では、練習やゲームで自ら工夫できる』について、全国平均と比較し、「そう思う」と回答した割合は、男女ともにやや下回っている。また、全道平均と比較して、男子はやや下回っているが、女子では大きな差がない。

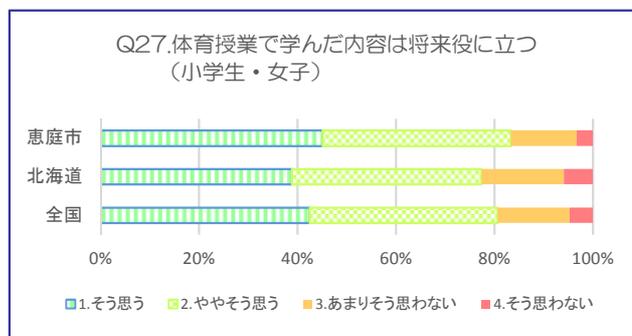
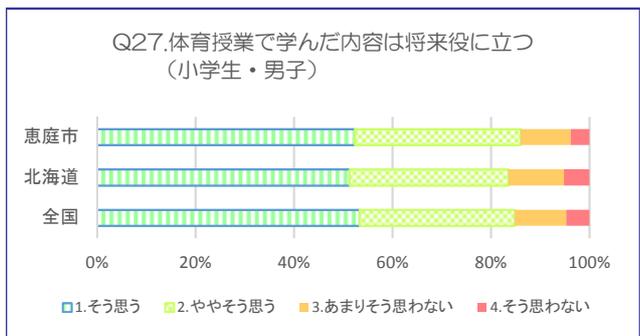


Q26.『できないことができるようになったきっかけ』について、男子は「①授業中に先生に個別にコツやポイントを教えてもらった、④先生や友達のまねをしてみた、⑤友達に教えてもらった」と回答した割合が高い。また、全国全道平均と比較すると、「②授業中に自分で工夫して練習した、⑤友達に教えてもらった」などが若干低い。女子は「④先生や友達のまねをしてみた、⑤友達に教えてもらった、⑧授業外の時間に自分で練習した」と回答した割合が高く、全国全道平均と比較すると、「⑧授業外の時間に自分で練習した」が若干高く、「②授業中に自分で工夫して練習した」などが若干低い。

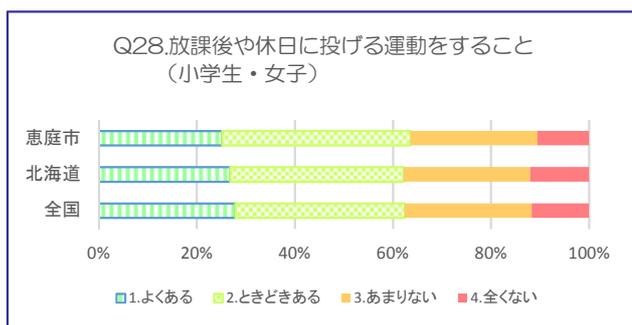
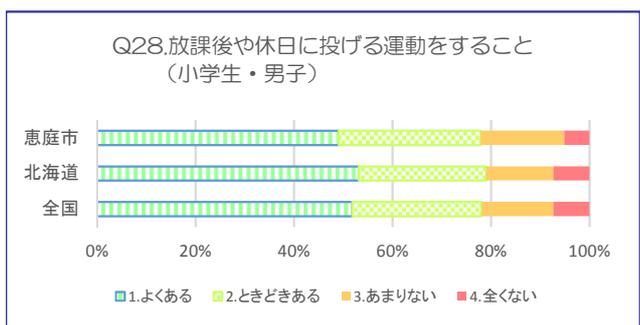
- ①授業中に先生に個別にコツやポイントを教えてもらった
- ②授業中に自分で工夫して練習した
- ③自分に合った場やルールが用意された
- ④先生や友達のまねをしてみた
- ⑤友達に教えてもらった
- ⑥授業中に自分の動きを撮影したビデオを見た
- ⑦授業外の時間に先生に教えてもらった
- ⑧授業外の時間に自分で練習した
- ⑨授業外の時間に自分で本を読んだりビデオを見たりした
- ⑩できるようになったことがない



Q27.『体育授業で学んだ内容は将来役に立つ』について、全国全道平均と比較して、「そう思う／ややそう思う」と回答した割合は、男女ともにやや上回っている。

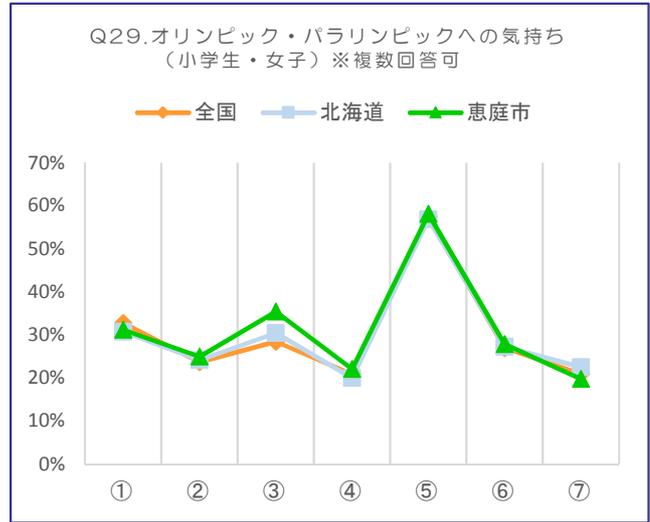
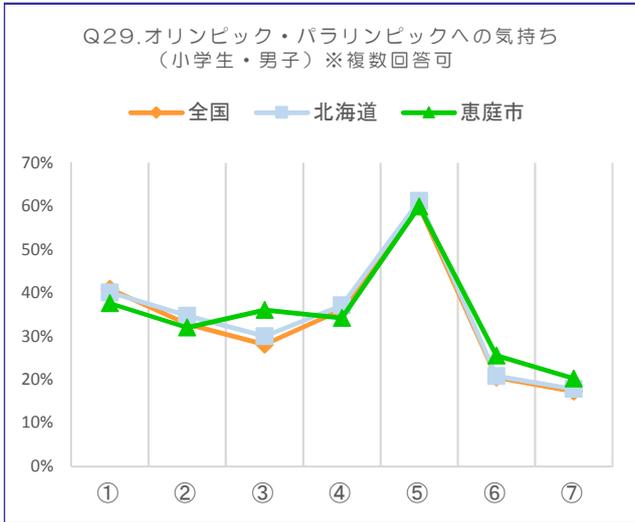


Q28.『放課後や休日に投げる運動をすること』について、全国全道平均と比較して、「よくある／ときどきある」と回答した割合について、男子はほぼ同じ程度であり、女子はやや上回っている。



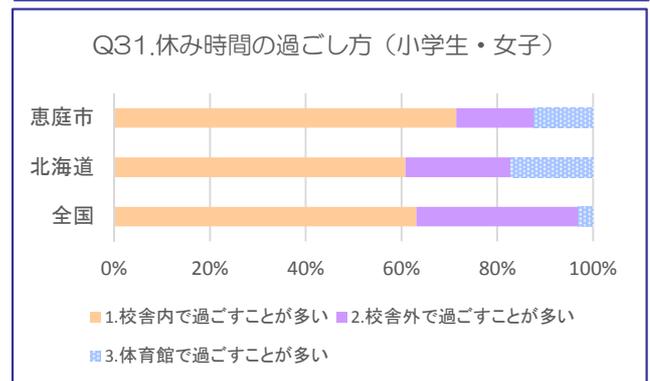
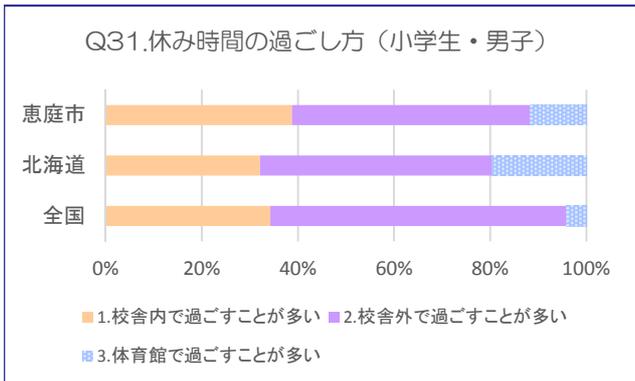
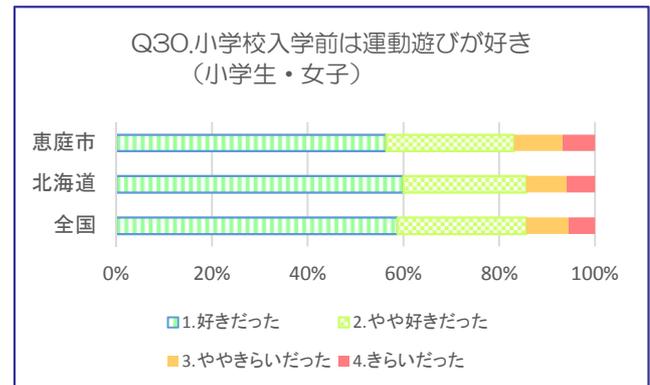
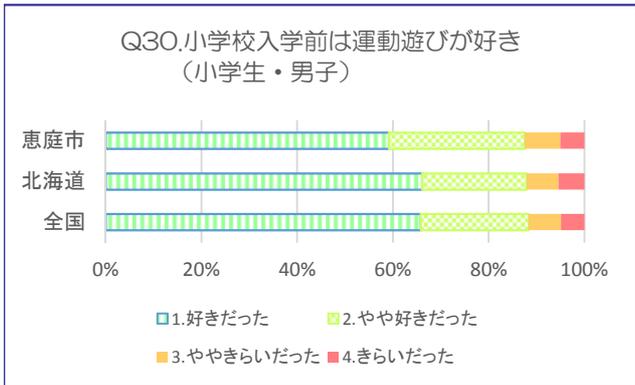
Q29.『オリンピック・パラリンピックへの気持ち』について、男女ともに「⑤試合を見に行ってみたい」と回答した割合が高い。また、全国全道平均と比較すると、男女とも「③オリンピック・パラリンピックの内容・歴史が知りたい」と回答した割合が若干高い。

- ①運動やスポーツに関心が高まってきた
- ②オリンピック・パラリンピックの種目を自分も行ってみたい
- ③オリンピック・パラリンピックの内容・歴史を知りたい
- ④自分も選手として出場してみたい
- ⑤試合を見に行ってみたい
- ⑥大会の開催の手伝いやボランティアをしてみたい
- ⑦分からない



Q30.『小学校入学前は運動遊びが好きだった』について、「好きだった／やや好きだった」と回答した割合は、全国全道平均と比較して、男子はほぼ同じ程度であり、女子はやや下回っている。

Q31.『休み時間の過ごし方』について、男子は「校舎外で過ごすことが多い」と回答した割合が最も高く、全国平均と比較して下回っているが、全道平均と比較すると上回っている。女子は「校舎内で過ごすことが多い」と回答した割合が高く、全国平均と比較してやや上回り、全道平均と比較して上回っている。



8 学校質問紙調査の結果

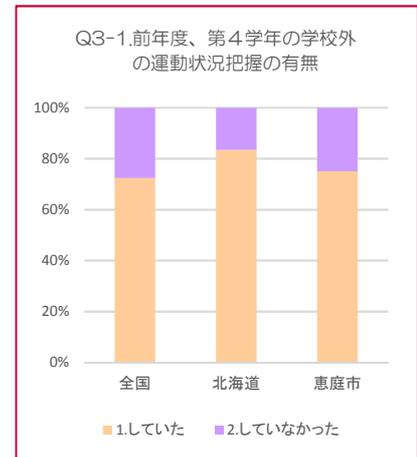
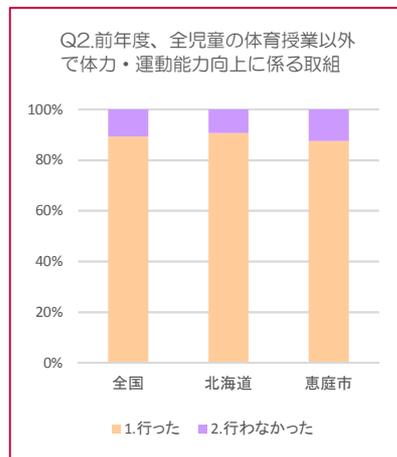
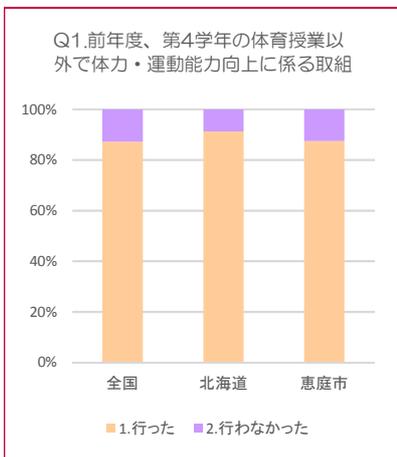
児童数平均値

| 小学校 | 調査数 (校数) | 1校あたりの児童数平均値(人) | | | | | |
|-----|-------------|-----------------|-----|-----|------|----|----|
| | | 全校 | | | 第5学年 | | |
| | | 男子 | 女子 | 合計 | 男子 | 女子 | 合計 |
| 全国 | 20,259 | 163 | 154 | 317 | 27 | 26 | 53 |
| 北海道 | 1,088 | 117 | 113 | 230 | 20 | 19 | 39 |
| 恵庭市 | 8 | 246 | 238 | 484 | 40 | 39 | 79 |

Q1.『前年度、第4学年の体育授業以外で体力・運動能力向上に係る取組』を「行った」と回答した割合は、全国平均と比較して、わずかに上回っているが、全道平均と比較すると、やや下回っている。

Q2.『前年度、全児童の体育授業以外で体力・運動能力向上に係る取組』を「行った」と回答した割合は、全国平均と比較して、ほぼ同じ程度であり、全道平均と比較すると、やや下回っている。

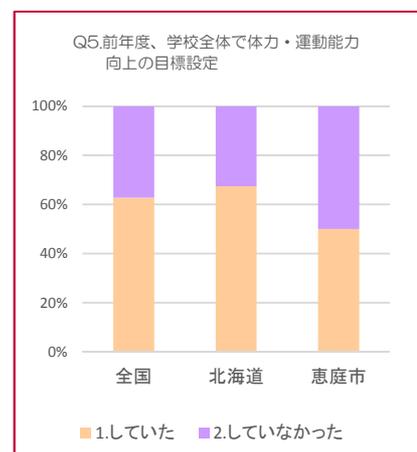
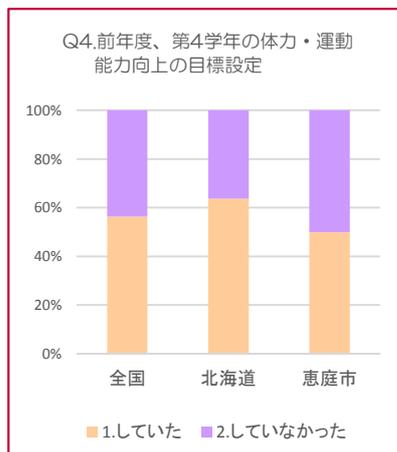
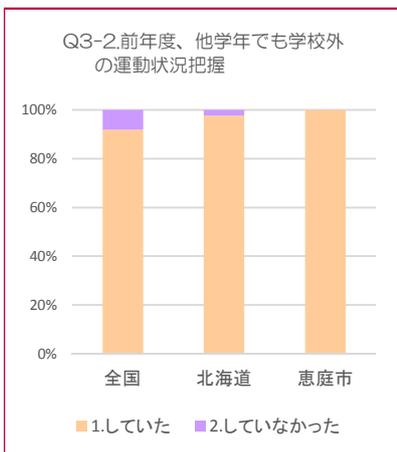
Q3-1.『前年度、第4学年の学校外の運動状況把握』を「していた」と回答した割合は、全国平均と比較して、やや上回っているが、全道平均と比較して、やや下回っている。



Q3-2.『前年度、他学年でも学校外の運動状況把握』を「していた」と回答した割合は、全国全道平均と比較して、上回っている。

Q4.『前年度、第4学年の体力・運動能力向上の目標設定』について「していた」と回答した割合は、全国平均と比較して、やや下回り、全道平均と比較しても下回っている。

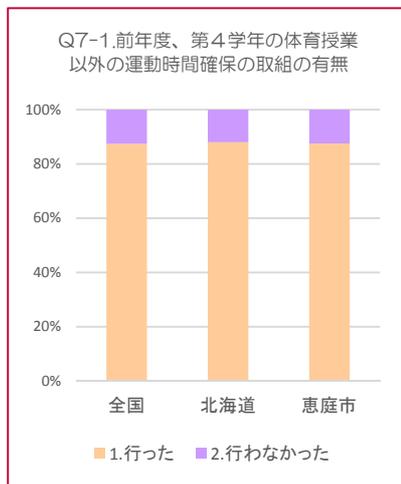
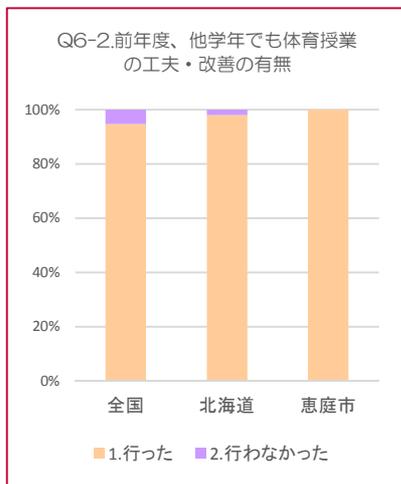
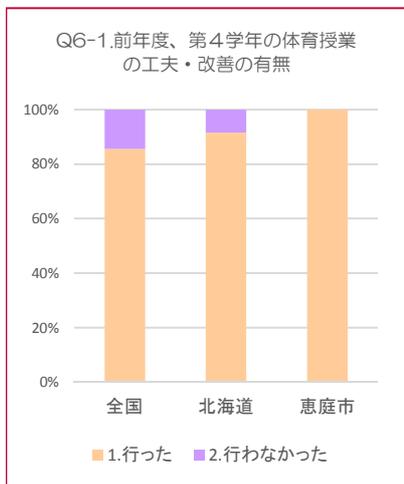
Q5.『前年度、学校全体で体力・運動能力向上の目標設定』について「していた」と回答した割合は、全国全道平均と比較して、下回っている。



Q6-1.『前年度、第4学年の体育授業の工夫・改善』について「行った」と回答した割合は、全国全道平均と比較して、高く恵庭市はすべての学校が行ったと回答している。

Q6-2.『前年度、他学年でも体育授業の工夫・改善』について「行った」と回答した割合は、全国全道平均と比較して、高く恵庭市はすべての学校が行ったと回答している。

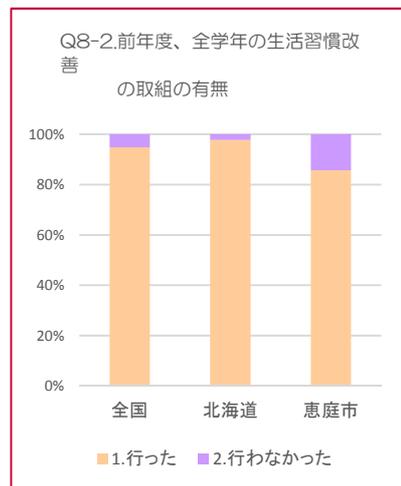
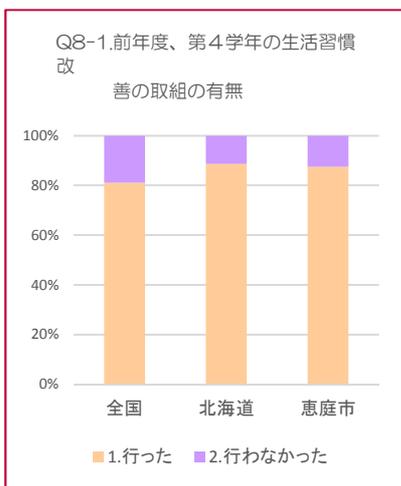
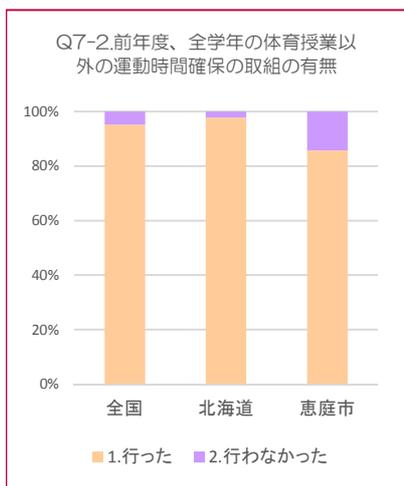
Q7-1.『前年度、第4学年の体育授業以外の運動時間確保の取組』について「行った」と回答した割合に、全国平均と比較して、大きな差はなかった。



Q7-2.『前年度、全学年の体育授業以外の運動時間確保の取組』について「行った」と回答した割合は、全国平均と比較して、やや下回っており、全道平均と比較しても、下回っている。

Q8-1.『前年度、第4学年の生活習慣改善の取組』について「行った」と回答した割合は、全国平均と比較して、やや上回っている。全道平均と比較した場合は、ほぼ同じ程度である。

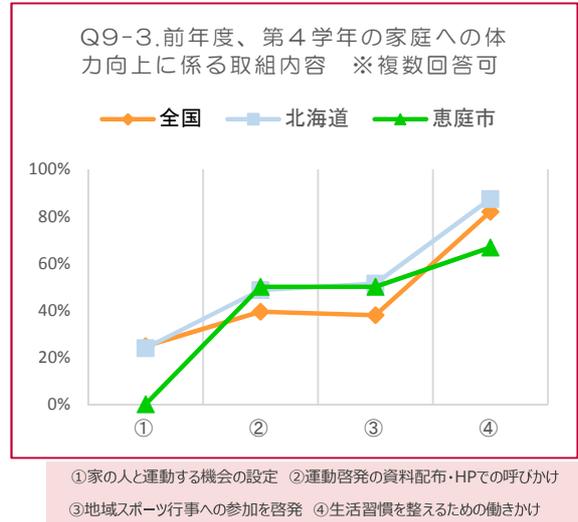
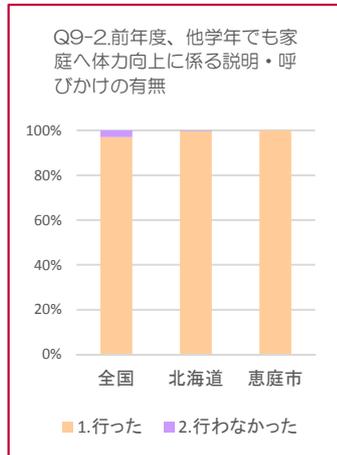
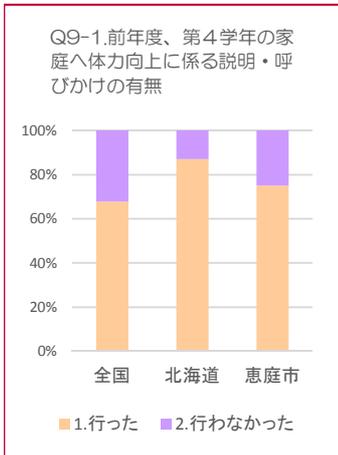
Q8-2.『前年度、全学年の生活習慣改善の取組』について「行った」と回答した割合は、全国平均と比較して、やや下回っており、全道平均と比較しても、下回っている。



Q9-1.『前年度、第4学年の家庭へ体力向上に係る説明・呼びかけ』を「行った」と回答した割合は、全国平均と比較して、上回っているが、全道平均と比較すると、下回っている。

Q9-2.『前年度、他学年でも家庭へ体力向上に係る説明・呼びかけ』を「行った」と回答した割合は、全国全道平均と比較して、高く、恵庭市はすべての学校が行ったと回答している。

Q9-3.『前年度、第4学年の家庭への体力向上に係る取組内容』について「②.運動啓発の資料配布・HPでの呼びかけ」「③. 地域スポーツ行事への参加を啓発」と回答した割合が全国平均を上回っている。「4. 生活習慣を整えるための働きかけ」と回答した割合も高いが、全国全道平均より下回っている。

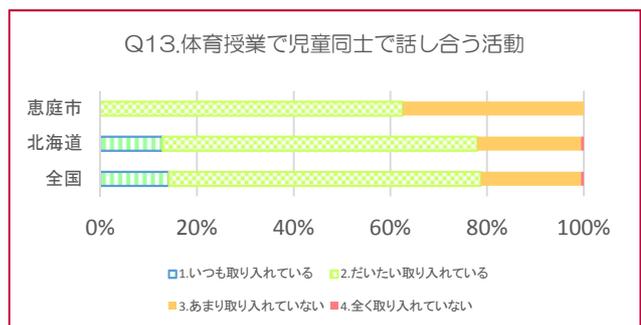
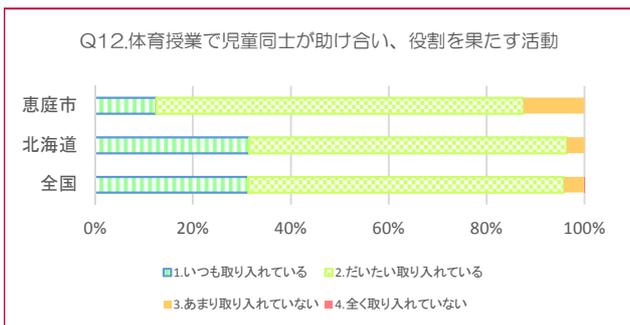
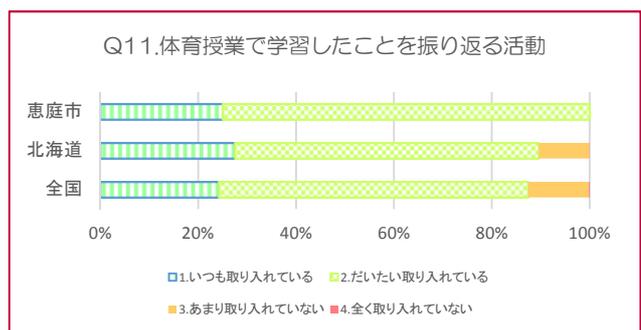
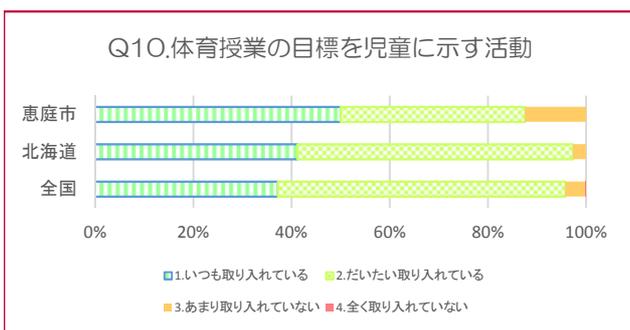


Q10.『体育授業の目標を児童に示す活動』を「いつも取り入れている／だいたい取り入れている」と回答した割合は、全国全道平均と比較して、やや下回っている。

Q11.『体育授業で学習したことを振り返る活動』を「いつも取り入れている／だいたい取り入れている」と回答した割合は、全国全道平均と比較して、大きく上回っている。

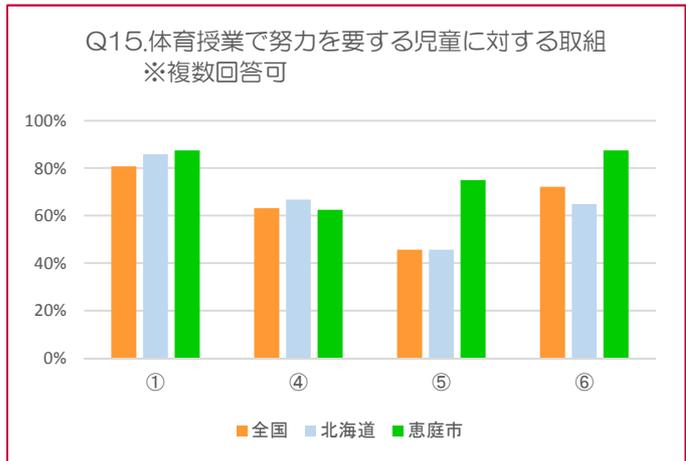
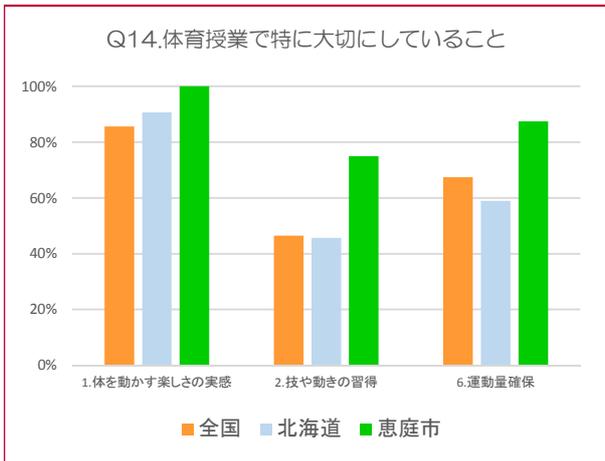
Q12.『体育授業で児童同士が助け合い、役割を果たす活動』を「いつも取り入れている／だいたい取り入れている」と回答した割合は、全国全道平均と比較して、やや下回っている。

Q13.『体育授業で児童同士で話し合う活動』を「いつも取り入れている、だいたい取り入れている」と回答した割合は、全国全道平均と比較して、下回っている。



Q14.『体育授業で特に大切にしていること（※複数回答可、上位3つまで）』について、恵庭市では、10項目ある内、「①体を動かす楽しさの実感」「②技や動きの習得」「⑥運動量の確保」を特に大切にしていると回答した割合が高く、いずれも全国全道平均を大きく上回っている。

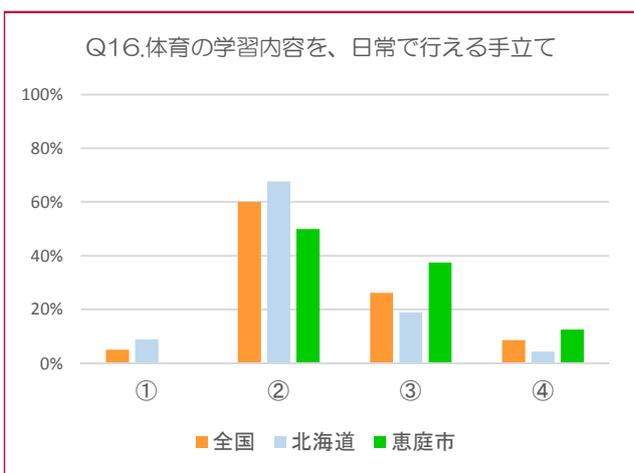
Q15.『体育授業で努力を要する児童に対する取組（※複数回答可）』について、恵庭市では、12項目ある内、「①授業中、コツやポイントを重点的に教える」「④児童に合った運動課題の段階的な準備」「⑤教員や友達のまねを促す」「⑥友達同士で教え合いを促す」取組みを行っている割合が高く、①、⑤、⑥は全国全道平均と比較しても、高くなっている。



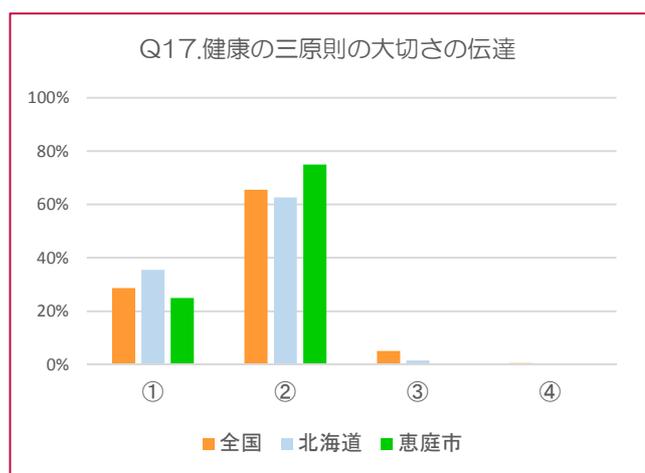
①授業中、コツやポイントを重点的に教える ④児童に合った運動課題の段階的な準備
⑤教員や友達のまねを促す ⑥友達同士で教え合いを促す

Q16.『体育の学習内容を、日常で行える手立て』について、「②領域や学年に応じて工夫」と回答した割合が高いが、全国全道平均と比較すると下回っている。次に「③児童に任せて見守る」と回答した割合が高く、全国全道平均と比較して、大きく上回っている。

Q17.『健康の三原則の大切さの伝達』について、「②機会をとらえて適宜伝える」と回答した割合が高く、全国全道平均と比較しても高くなっている。次に「①様々な場面で計画的に伝える」と回答した割合が高いが、全国全道平均と比較すると、低くなっている。



①日常化を図る手立てを計画的に工夫 ②領域や学年に応じて工夫
③児童に任せて見守る ④特に講じていない



①様々な場面で計画的に伝える ②機会をとらえて適宜伝える
③各担任や担当に任せる ④特に伝えていない

Q 18 体育専科教員について

Q18-1 配置状況について

恵庭市では、平成26年度の時点では、常勤・非常勤ともに体育専科教員は配置されていなかったものの、平成27年度から、恵庭市の小学校1校に1名常勤として配置されている。
全国全道の配置状況も非常に低く、平成26・27年度ともに配置していない割合が9割以上となっている。

Q18-2 体育専科教員の、前年度第4学年の体育授業担当状況

(恵庭市では、平成26年度の時点、配置されていないため、該当なし。)

Q18-3 体育専科教員単独での授業担当状況

恵庭市では、単独で担当している状況である。

Q 19 外部人材について

Q19-1 体育授業等への外部人材の活用人数

恵庭市では、5人以上外部人材を活用していると回答した小学校が多い。外部人材を活用していないと回答する割合は1割程度である。

Q19-2-1 外部人材の活用状況（学校全体での活用の有無）

恵庭市の小学校では、学校全体で「水泳」「表現運動」「保健」「体育的活動（ウインタースポーツ等）」の種目において外部人材を活用している。

Q19-2-2 外部人材の活用状況（第5学年での活用の有無）

前問と同様、学校全体で「水泳」「表現運動」「保健」「体育的活動（ウインタースポーツ等）」の種目で外部人材を活用している。

Q19-3 外部人材のプロフィール ※複数回答可

恵庭市では、「地域のスポーツ指導者」が最も多く、ほかに「教員経験者」「保護者」と回答している。「その他」は3割程度である。

Q20 調査結果を踏まえた授業の工夫・改善

『調査結果を踏まえた授業の工夫・改善』について、「行った／行う予定／特定の学年のみ行った」と回答した割合を合計すると100%となり、恵庭市内すべての小学校が、工夫・改善を行っている。

Q21.22 「調査結果資料CD」、「活用シート」の活用

恵庭市では、『調査結果資料CD』『活用シート』について、ほとんどの小学校が活用している。

Q23 調査報告書の事例校を参考にした取組

調査報告書の事例校を参考し取組んだ恵庭市内の小学校は、全8校中5校である。

Q24 調査対象である第5学年の担当教員以外も含めた、調査結果の情報共有

恵庭市ではすべての小学校で情報共有をしている。

Q25 調査結果の公開

調査結果の公開を行った恵庭市内の小学校は、全 8 校中 4 校である。

Q 26 地域の幼保連携の取組

Q26-1 地域の幼保連携の取組の有無

地域の幼保連携の取組を行っている恵庭市内の小学校は、全 8 校中 3 校である。

Q26-2、Q26-3 地域の幼保連携のうち、体力向上に係る取組・取組内容

(地域の幼保連携のうち、体力向上に係る取組を行っている小学校はない。)

Q27 校庭の材質 ※複数回答可

全国全道で「土・砂」と回答した割合が高く、恵庭市内の小学校はすべて「土・砂」と回答している。

Q28 学校の体育施設 ※複数回答可

恵庭市では、6 項目ある内、「校庭に直線50m走のコースがとれる」「校庭に児童の興味関心を引く施設等を配置」「校庭以外に屋外の運動場がある」と回答した割合が高く、すべての小学校が「校庭に直線50m走のコースがとれる」と回答している。

Q29 これまで「新体カテスト」の実施した年数

恵庭市では、小学校全 8 校中 1 校のみ 3 年と回答し、残り 7 校は 6 年以上と回答している。

Q30 今年度の「新体カテスト」の実施時期

恵庭市内の小学校は 6 ～ 7 月に実施している。(全国では 5 ～ 6 月が多く、全道では 6 ～ 7 月に実施するところが多い)

Q31 「新体カテスト」を実施している学年 ※複数回答可

恵庭市では、小学校全学年で全 8 校中 5 校以上が実施しており、特に「4 年生・5 年生」は、すべての学校で実施している。

※「新体カテスト」…文部科学省が国民全体の体力・運動能力調査として、策定・実施している今回の調査とは異なる体カテスト